

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 (概要)

2023年11月

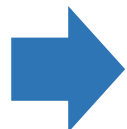
石川県観光戦略推進部国際交流課

調査の目的

本県の外国人住民が過去最多となる中、その生活実態やニーズを把握し、住民支援や地域参画の取組に資することを目的に実施

調査の概要

調査対象	18歳以上の外国人住民 ※特別永住者を除く
有効回答数等	配布数 14,642人 回答数 3,071人 / 回答率21%
調査方法	・WEB調査（対象者に二次元バーコード付きの依頼状を郵送し、当該コードを読み込んでインターネット上でアンケートに回答してもらう形式） ・6言語（やさしい日本語、英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語、インドネシア語）で対応
調査項目	属性、日常生活（満足度、困りごと・不安なこと（生活全般、子育て・教育、医療、仕事、災害））、地域交流・活動、日本語学習、情報入手（計33問）
調査期間	令和5年7月21日～8月4日



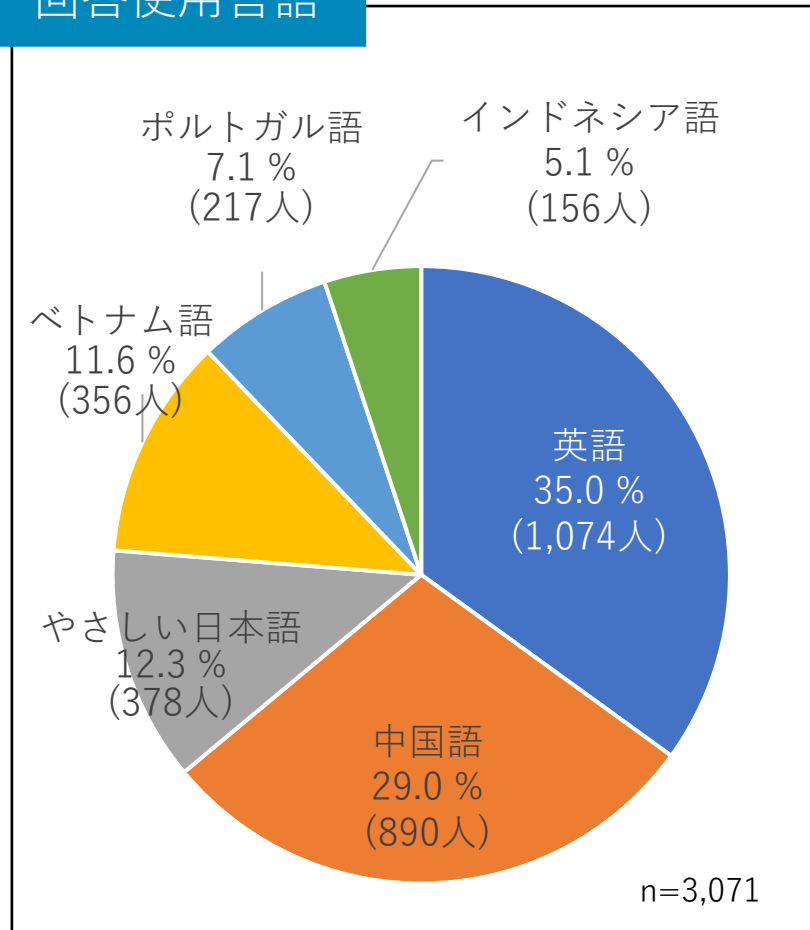
回答者のうち、2,716人のメールアドレスを入手。今後、県や県国際交流協会、市町の交流イベントや日本語教室等の情報を随時提供

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <属性> -

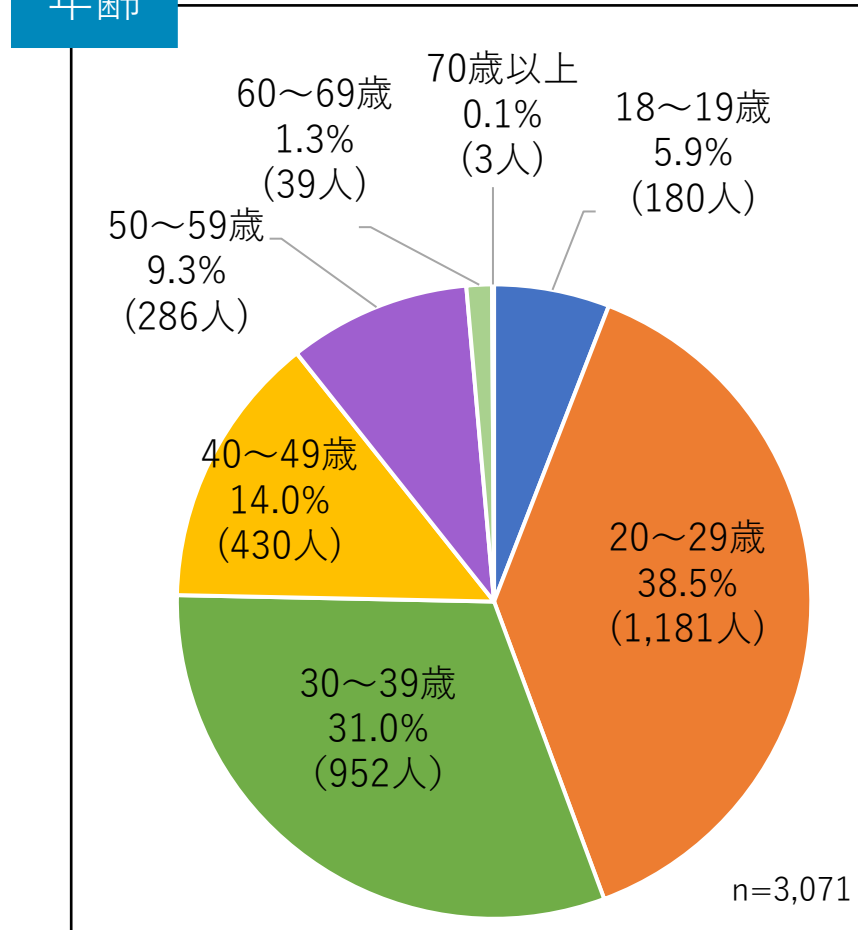
○回答の際の使用言語は、「英語」(35.0%)、「中国語」(29.0%)、「やさしい日本語」(12.3%)の順に多い。

○年齢は、「20～29歳」(38.5%)、「30～39歳」(31.0%)、「40～49歳」(14.0%)の順に多い。

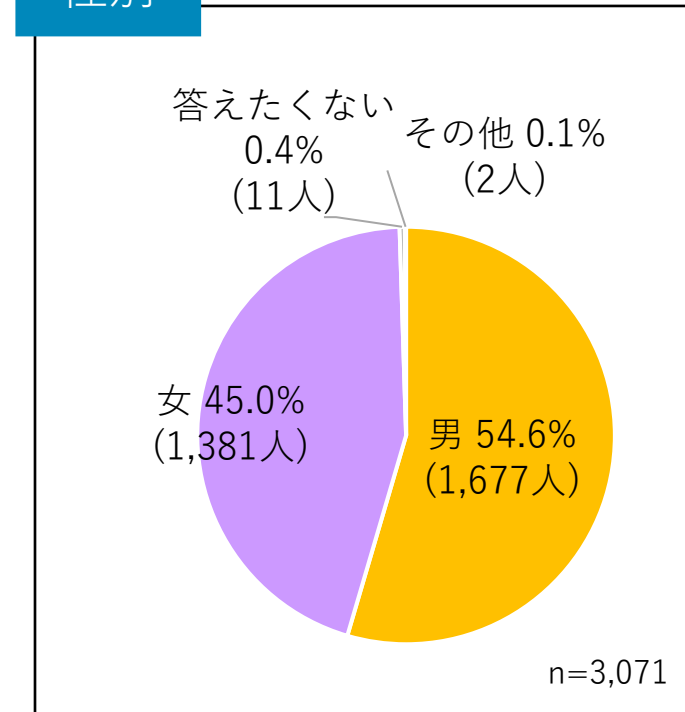
回答使用言語



年齢



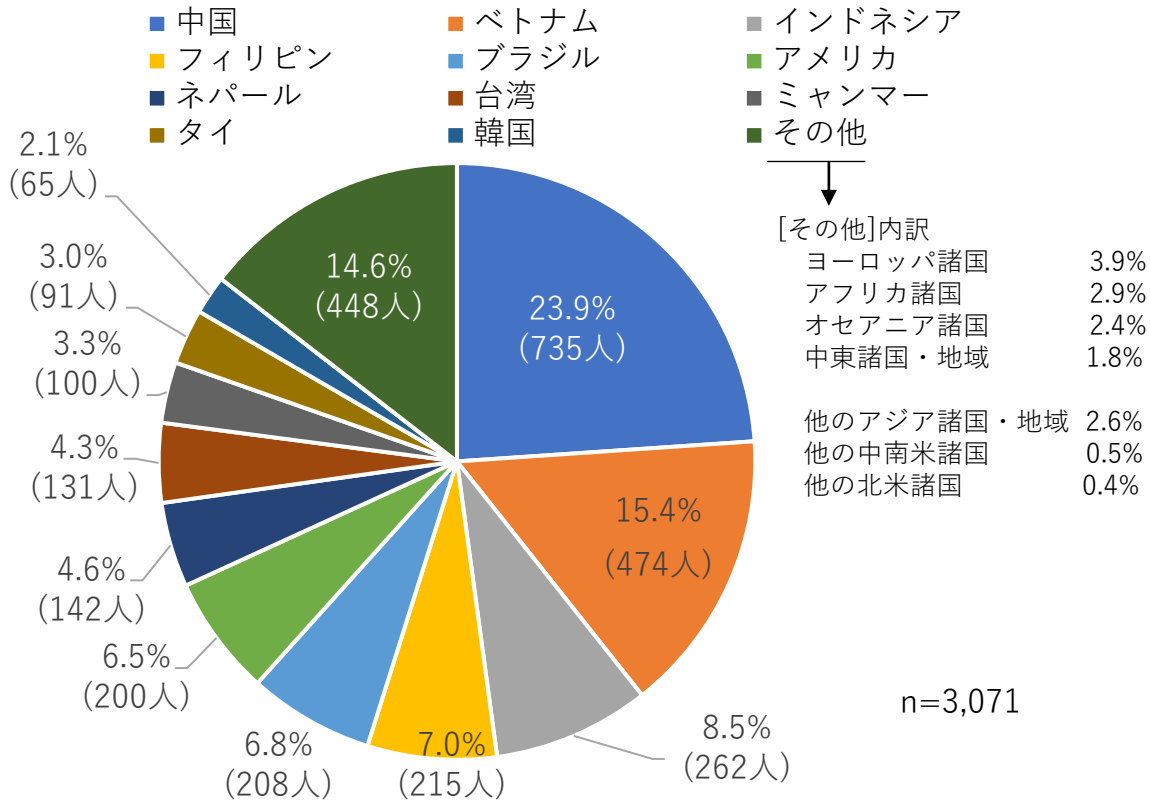
性別



石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <属性> -

- 国籍・地域は、「中国」(23.9%)、「ベトナム」(15.4%)、「インドネシア」(8.5%)の順に多い。
- 在留資格は、「留学」(15.5%)、「永住者」(14.9%)、「特定技能」(10.9%)の順に多い。
- 滞在期間が長い者(「永住者」、「定住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」)は3割。「技能実習」と「特定技能」で2割。

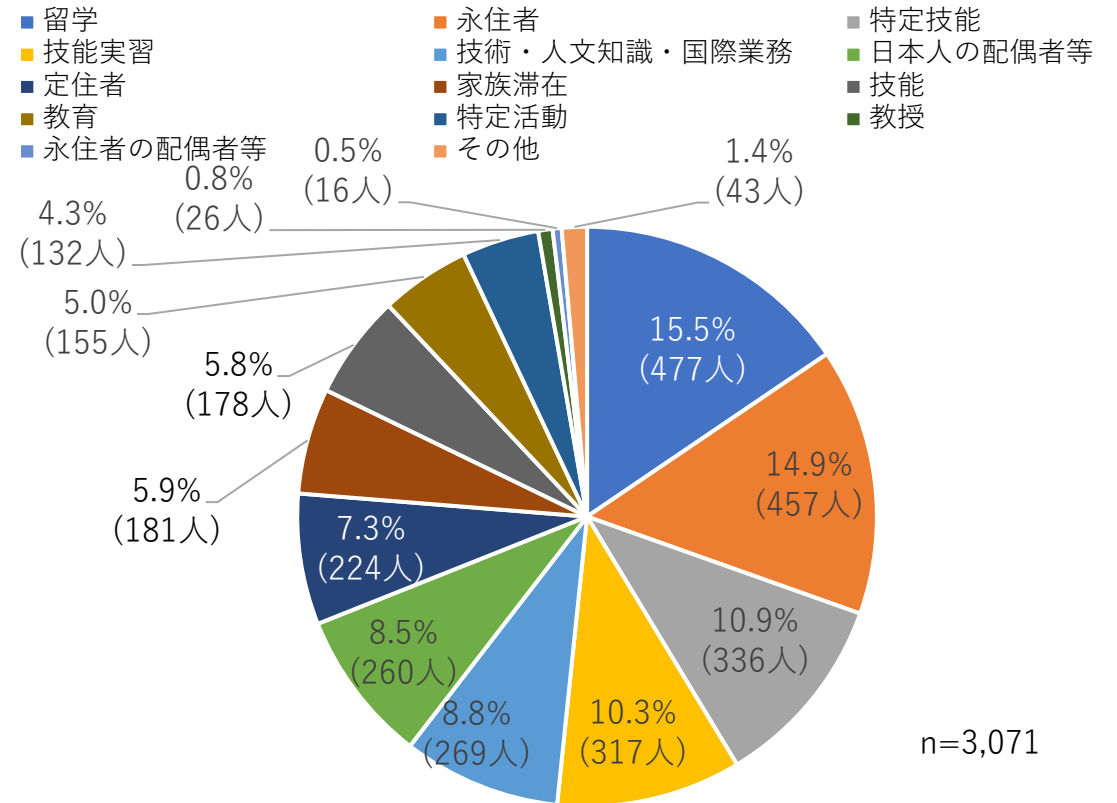
国籍・地域



(参考) 県内の外国人住民数 (R4. 12月末)

- 1位:ベトナム (27.6%) 2位:中国 (21.9%) 3位:ブラジル (8.2%)
 4位:フィリピン (7.8%) 5位:韓国 (7.2%)

在留資格



(参考) 県内の外国人住民数 (R4. 12月末)

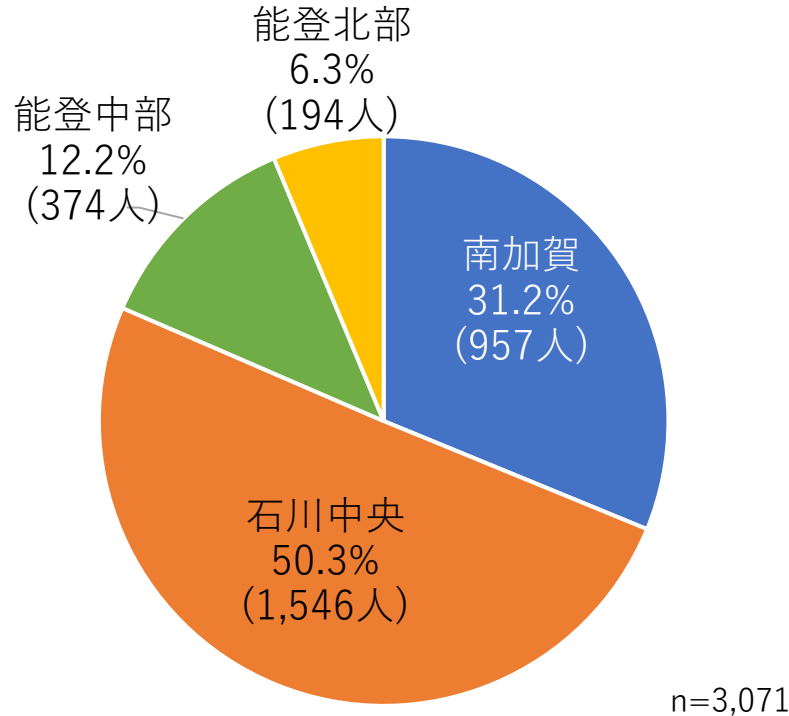
- 1位:技能実習 (24.9%) 2位:永住者 (19.2%) 3位:留学 (12.7%)
 4位:特定技能 (8.7%) 5位:技術・人文知識・国際業務 (6.8%)

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <属性> -

○居住地を圏域別にみると、金沢市を含む「石川中央」（50.3%）が最多。

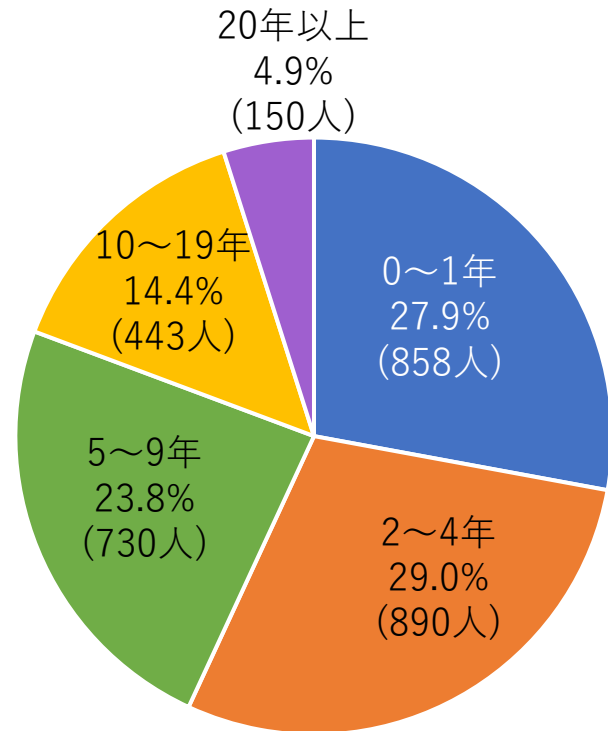
居住地（圏域別）

南加賀：小松市,加賀市,能美市,川北町
 石川中央：金沢市,かほく市,白山市,野々市市,津幡町,内灘町
 能登中部：七尾市,羽咋市,志賀町,宝達志水町,中能登町
 能登北部：輪島市,珠洲市,穴水町,能登町

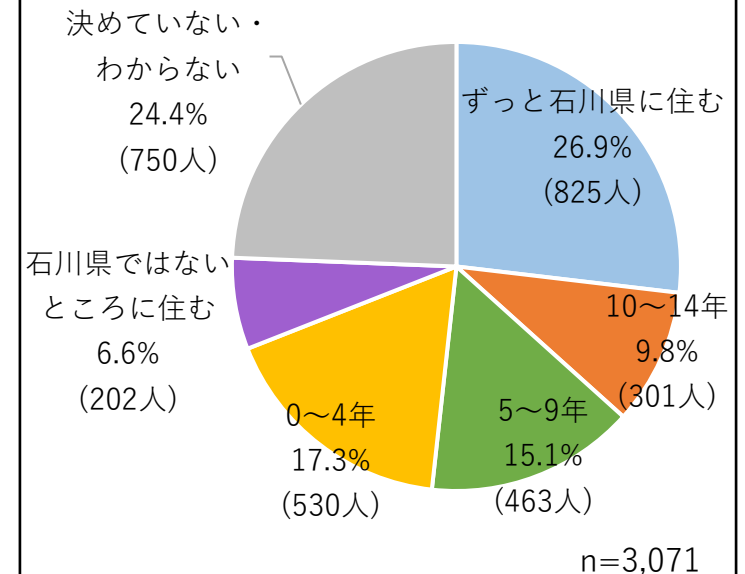


(参考) 県内の外国人住民数 (R4. 12月末)
 南加賀(31.4%)、石川中央(57.0%)、能登中部(8.4%)、
 能登北部(3.2%)

県内での居住年数



今後の県内居住予定期間

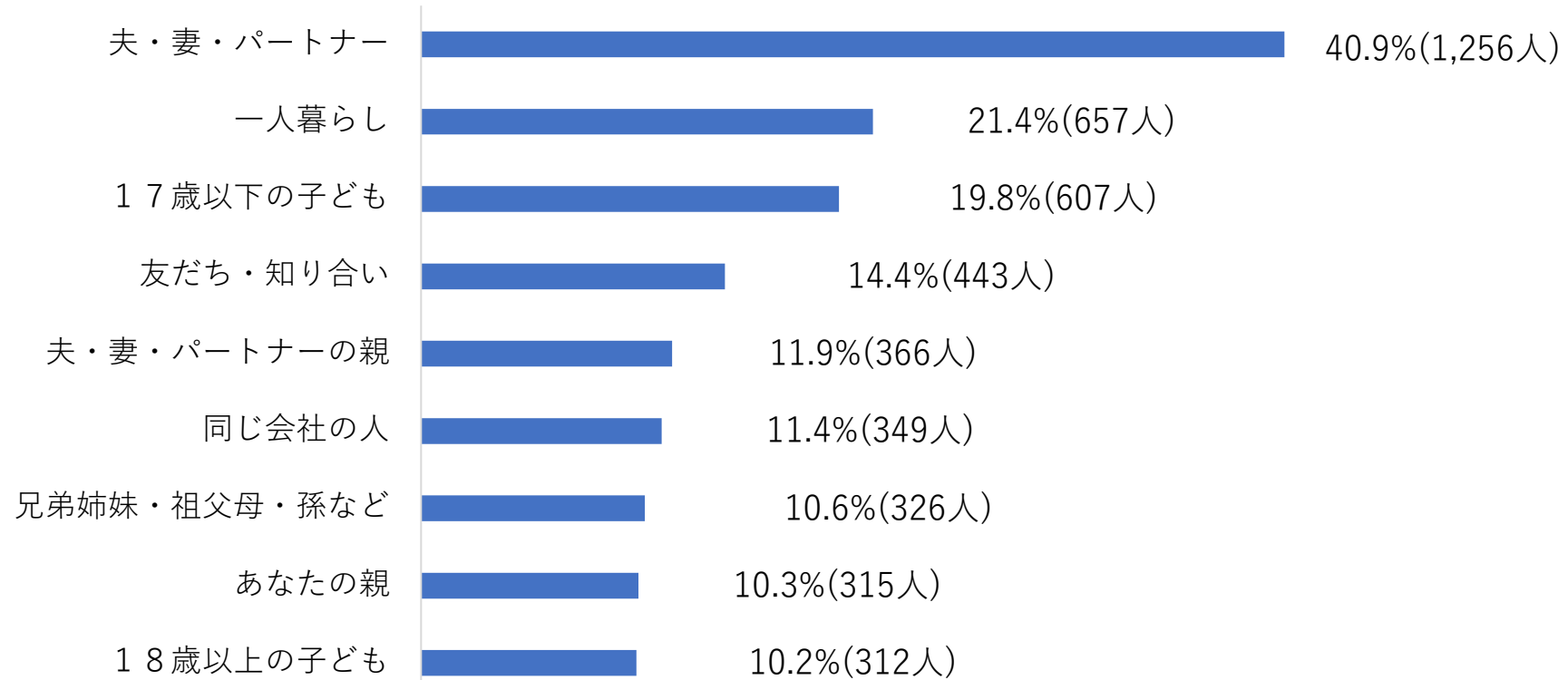


石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <属性> -

○同居者は、「夫・妻・パートナー」（40.9%）、「一人暮らし」（21.4%）、「17歳以下の子ども」（19.8%）の順に多い。

同居者

(複数回答)



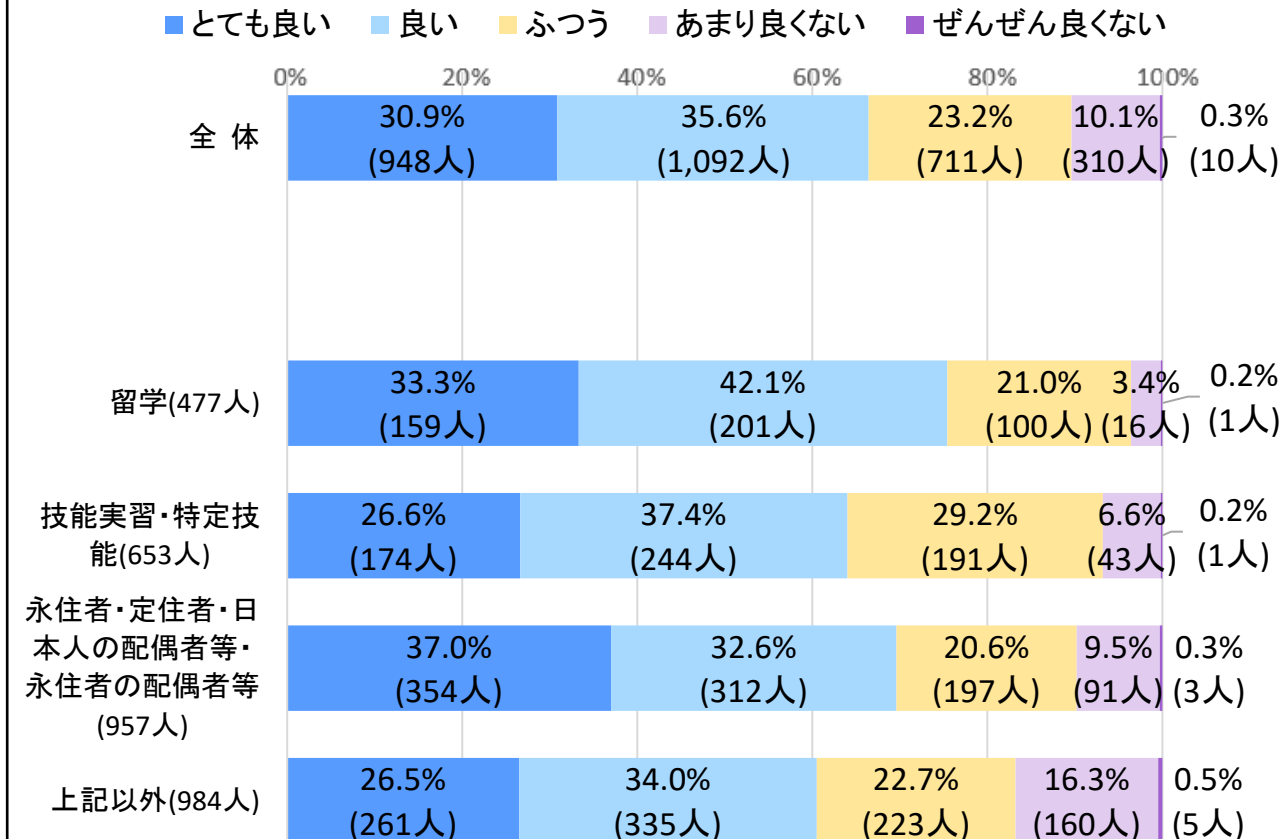
n=3,071

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

- 石川県での生活に満足している者（「とても良い」、「良い」）は66.5%。
- 日常生活で困ったときの相談相手は、「家族・親戚」（48.1%）が最も多く、次いで「友人・知人（同じ国の人）」（44.2%）が多い。

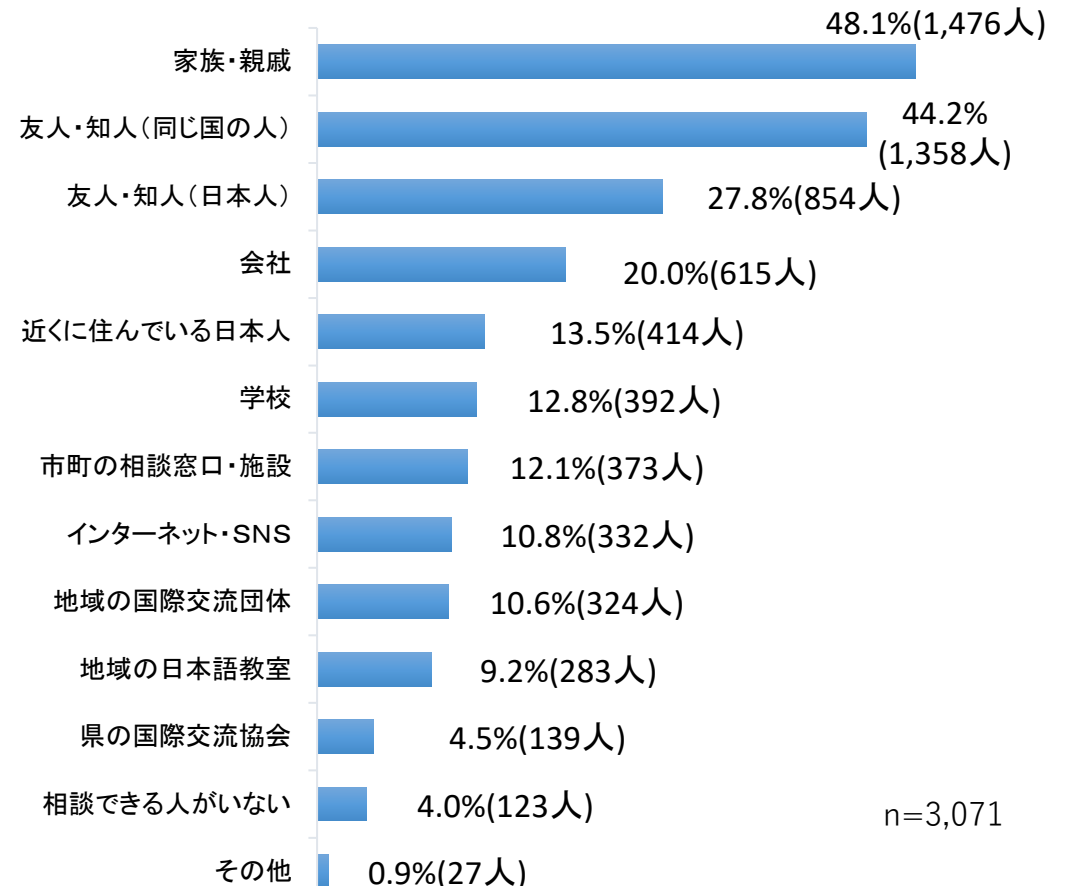
石川県での生活の満足度

n=3,071



日常生活で困ったときの相談相手

(複数回答)



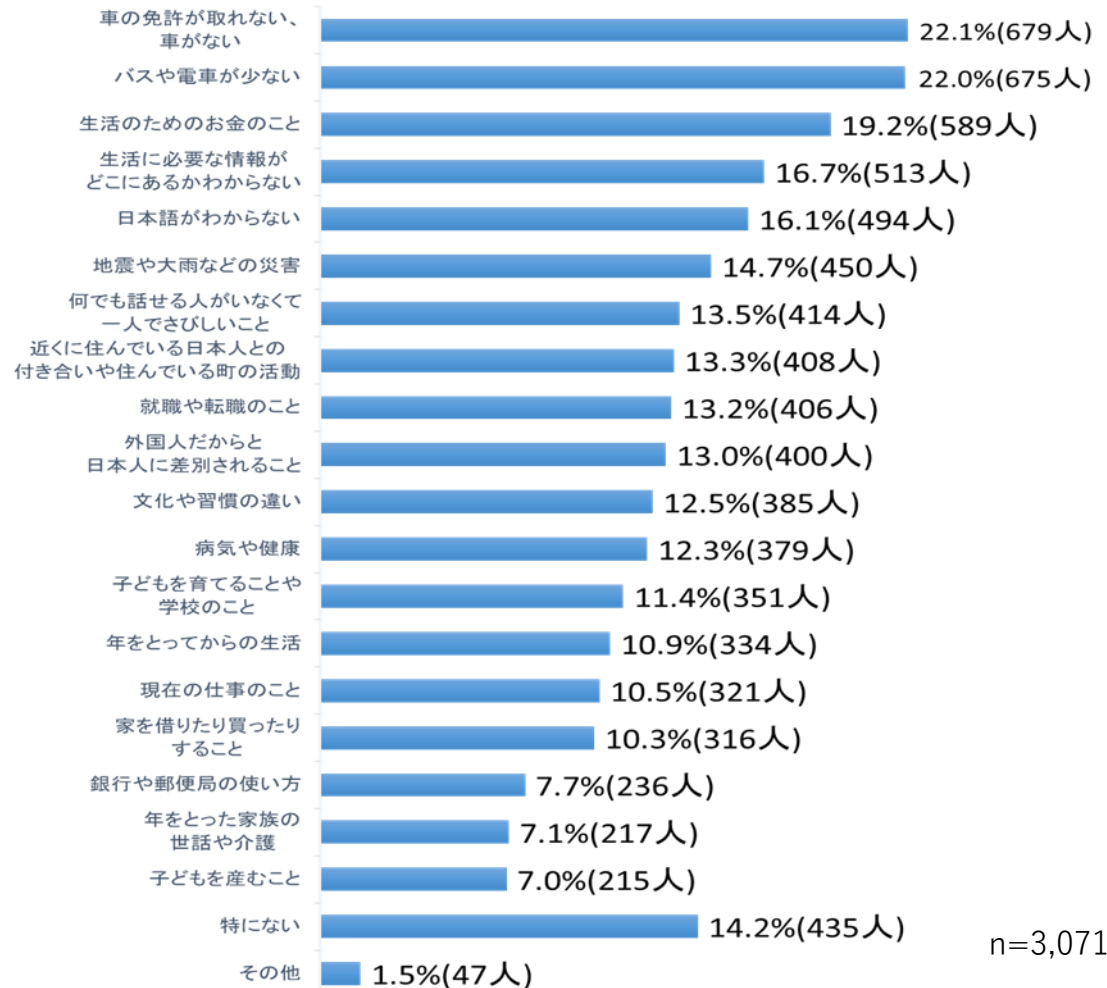
n=3,071

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

○生活の中での困りごと・不安なことは、「車の免許が取れない、車がない」(22.1%)や「バスや電車が少ない」(22.0%)といった移動手段に関することが多く、「生活のためのお金のこと」(19.2%)、「生活に必要な情報がどこにあるかわからない」(16.7%)と続く。

生活の中での困りごと・不安なこと

(複数回答)



n=3,071

(圏域別)

[南加賀] (957人)

1位	車の免許が取れない、車がない	23.0%	(220人)
2位	バスや電車が少ない	22.5%	(215人)
3位	日本語がわからない	19.3%	(185人)

[石川中央] (1,546人)

1位	バスや電車が少ない	22.3%	(344人)
2位	車の免許が取れない、車がない	21.8%	(337人)
3位	生活のためのお金のこと	20.6%	(319人)

[能登中部] (374人)

1位	車の免許が取れない、車がない	21.1%	(79人)
2位	バスや電車が少ない	20.6%	(77人)
3位	地震や大雨などの災害	20.3%	(76人)

[能登北部] (194人)

1位	地震や大雨などの災害	23.2%	(45人)
2位	車の免許が取れない、車がない	22.2%	(43人)
3位	バスや電車が少ない	20.1%	(39人)

(在留資格別)

[留学] (477人)

1位	バスや電車が少ない	43.0%	(205人)
2位	車の免許が取れない、車がない	31.7%	(151人)
3位	生活のためのお金のこと	24.3%	(116人)

[技能実習・特定技能] (653人)

1位	車の免許が取れない、車がない	31.1%	(203人)
2位	生活のためのお金のこと	25.0%	(163人)
3位	生活に必要な情報がどこにあるかわからない	20.5%	(134人)

[永住者・定住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等] (957人)

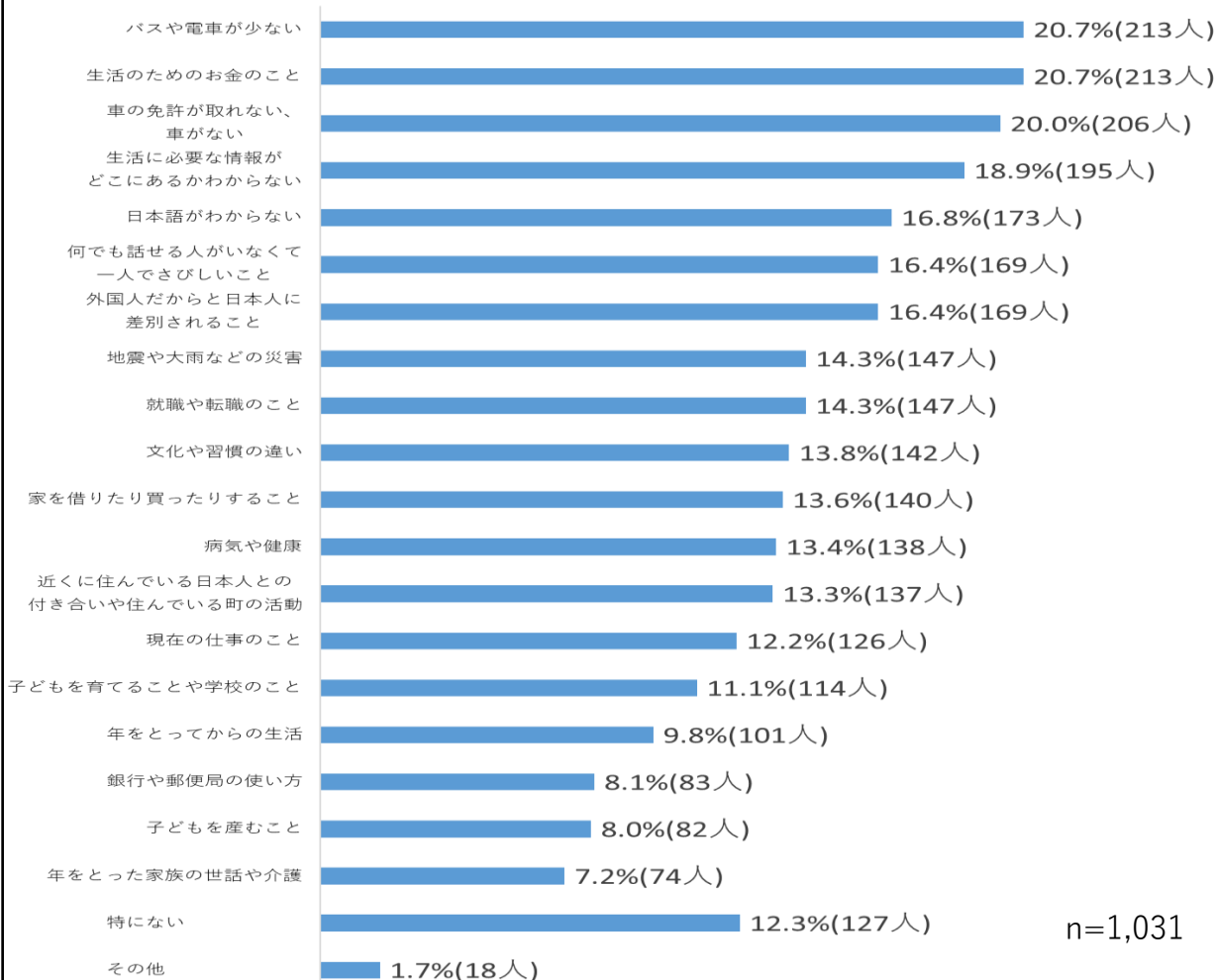
1位	年を取ってからの生活	17.1%	(164人)
2位	生活のためのお金のこと	15.6%	(149人)
3位	地震や大雨などの災害	13.9%	(133人)

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

- 生活の満足度で「ふつう」、「あまり良くない」、「ぜんぜん良くない」と回答した者の生活の中での困りごと・不安なことをみると、「生活に必要な情報がどこにあるかわからない」、「何でも話せる人がいなくて一人でさびしいこと」、「外国人だからと日本人に差別されること」の割合が高い。
- 能登北部では、「生活に必要な情報がどこにあるかわからない」「何でも話せる人がいなくて一人でさびしいこと」の割合が高い。
- 技能実習・特定技能では、「日本語がわからない」が多く、永住者等長期滞在の者では、「外国人だからと日本人に差別されること」、「何でも話せる人がいなくてさびしいこと」、「家を借りたり買ったりすること」が多い。

生活の中での困りごと・不安なこと

(複数回答)



n=1,031

(圏域別)

圏域	人数	1位	2位	3位
[南加賀]	342人	1位 バスや電車が少ない (23.1%)	2位 生活のお金 (20.8%)	3位 車の免許が取れない、車がない (20.5%)
[石川中央]	479人	1位 バスや電車が少ない (22.3%)	1位 生活のお金 (22.3%)	3位 車の免許が取れない、車がない (20.7%)
[能登中部]	149人	1位 車の免許が取れない、車がない (18.1%)	2位 生活のお金 (17.4%)	2位 地震や大雨などの災害 (17.4%)
[能登北部]	61人	1位 生活に必要な情報がどこにあるかわからない (24.6%)	2位 地震や大雨などの災害 (23.0%)	3位 何でも話せる人がいなくて一人でさびしいこと (21.3%)
		3位 銀行や郵便局の使い方 (21.3%)		

(在留資格別)

在留資格	人数	1位	2位	3位
[留学]	117人	1位 バスや電車が少ない (35.9%)	2位 車の免許が取れない、車がない (32.5%)	3位 生活のお金 (29.9%)
[技能実習・特定技能]	235人	1位 生活のお金 (31.1%)	2位 車の免許が取れない、車がない (26.8%)	3位 日本語がわからない (26.0%)
[永住者・定住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等]	291人	1位 外国人だからと日本人に差別されること (19.6%)	2位 何でも話せる人がいなくて一人でさびしいこと (18.9%)	3位 家を借りたり買ったりすること (18.2%)

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

○子育てや教育での困りごと・不安なことは、「子育てや教育のお金が高い」(16.5%)が多く、「学校などの先生と上手く話ができない」(14.3%)、「日本の教育の制度がわからない」(14.3%)と続く。

子育てや教育での困りごと・不安なこと

(複数回答)



n=3,071

(圏域別)

[南加賀] (957人)

1位	子育てや教育のお金が高い	18.0%	(172人)
2位	学校などの先生とうまく話ができない	14.3%	(137人)
3位	日本の教育の制度がわからない	13.8%	(132人)

[石川中央] (1,546人)

1位	子育てや教育のお金が高い	13.4%	(207人)
2位	日本の教育の制度がわからない	13.3%	(205人)
3位	親同士の交流が少ない	12.1%	(187人)

[能登中部] (374人)

1位	子育てや教育のお金が高い	20.1%	(75人)
2位	子育てや教育の情報が手に入らない	18.7%	(70人)
3位	学校などの先生とうまく話ができない	18.4%	(69人)

[能登北部] (194人)

1位	子育てや教育のお金が高い	26.8%	(52人)
2位	学校など先生とうまく話ができない	25.3%	(49人)
3位	学校に入学するための試験が難しい	23.7%	(46人)

(在留資格別)

[留学] (477人)

1位	日本の教育の制度がわからない	8.2%	(39人)
2位	学校などの先生とうまく話ができない	6.7%	(32人)
3位	子育てや教育のお金が高い	6.1%	(29人)

[技能実習・特定技能] (653人)

1位	子育てや教育のお金が高い	13.3%	(87人)
2位	学校などの先生とうまく話ができない	12.1%	(79人)
2位	日本の教育の制度がわからない	12.1%	(79人)

[永住者・定住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等] (957人)

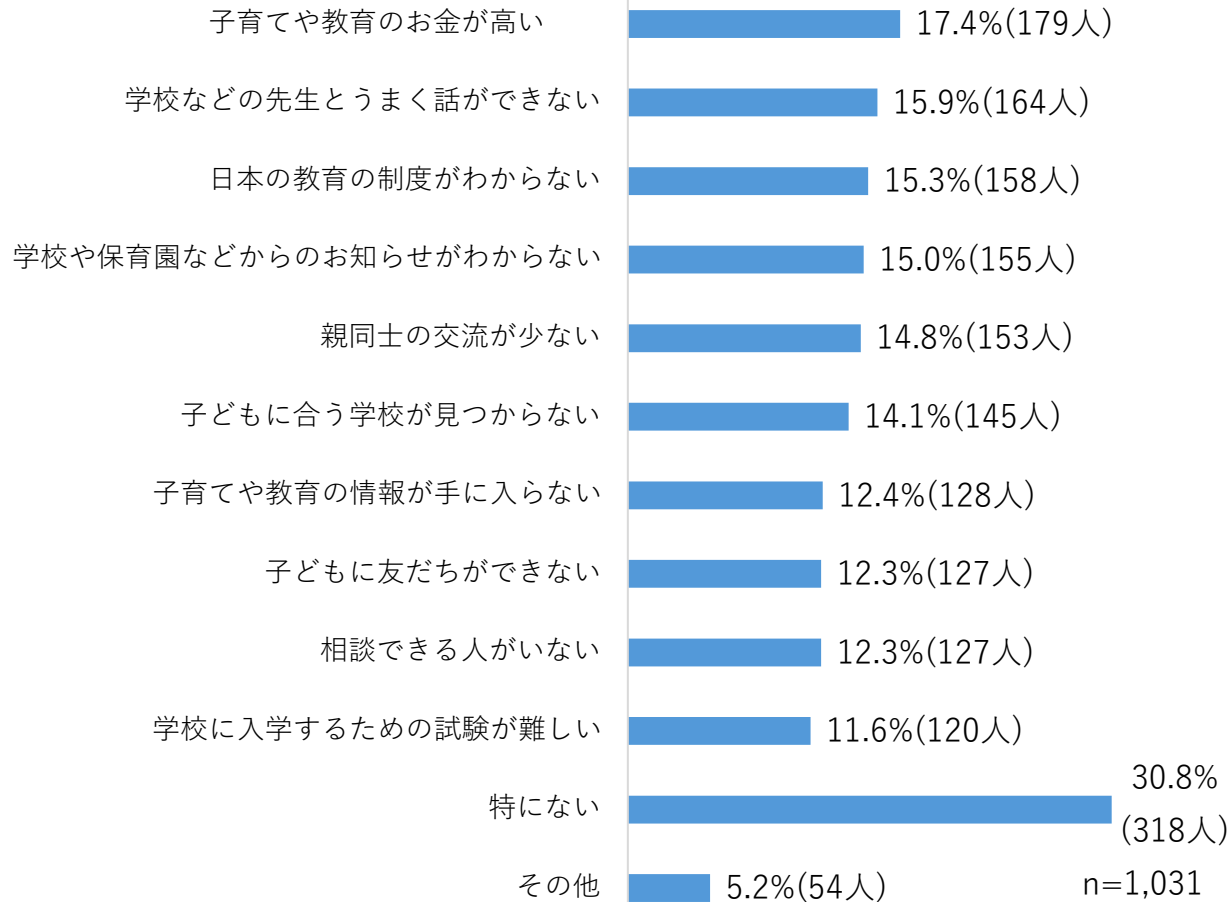
1位	子育てや教育のお金が高い	18.8%	(180人)
2位	親同士の交流が少ない	14.4%	(138人)
3位	日本の教育の制度がわからない	14.2%	(136人)

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

- 生活の満足度で「ふつう」、「あまり良くない」、「ぜんぜん良くない」と回答した者の子育てや教育での困りごと・不安なことをみると、「学校や保育園などからのお知らせがわからない」、「子どもに合う学校が見つからない」の割合が高い。
- 能登中部では、「子育てや教育の情報が手に入らない」、「学校などの先生とうまく話ができない」の割合が高く、能登北部では「学校に入学するための試験が難しい」、「子育てや教育のお金が高い」、「親同士の交流が少ない」の割合が高い。
- 永住者等長期滞在の者では、「親同士の交流が少ない」が最多。

子育てや教育での困りごと・不安なこと

(複数回答)



(圏域別) [南加賀] (342人)

1位	子育てや教育のお金が高い	18.7%	(64人)
2位	学校などの先生とうまく話ができない	15.8%	(54人)
3位	学校や保育園などからのお知らせがわからない	15.5%	(53人)

[石川中央] (479人)

1位	日本の教育の制度がわからない	15.2%	(73人)
2位	子育てや教育のお金が高い	15.0%	(72人)
2位	学校や保育園などからのお知らせがわからない	15.0%	(72人)

[能登中部] (149人)

1位	子育てや教育の情報が手に入らない	22.8%	(34人)
2位	学校などの先生とうまく話ができない	20.1%	(30人)
3位	子育てや教育のお金が高い	18.1%	(27人)
3位	日本の教育の制度がわからない	18.1%	(27人)

[能登北部] (61人)

1位	学校に入学するための試験が難しい	32.8%	(20人)
2位	子育てや教育のお金が高い	26.2%	(16人)
3位	親同士の交流が少ない	24.6%	(15人)

(在留資格別)

[留学] (117人)

1位	学校などの先生とうまく話ができない	8.5%	(10人)
2位	学校や保育園などからのお知らせがわからない	7.7%	(9人)
3位	日本の教育の制度がわからない	6.0%	(7人)

[技能実習・特定技能] (235人)

1位	学校などの先生とうまく話ができない	11.9%	(28人)
2位	学校や保育園などからのお知らせがわからない	10.2%	(24人)
3位	子育てや教育のお金が高い	9.8%	(23人)

[永住者・定住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等] (291人)

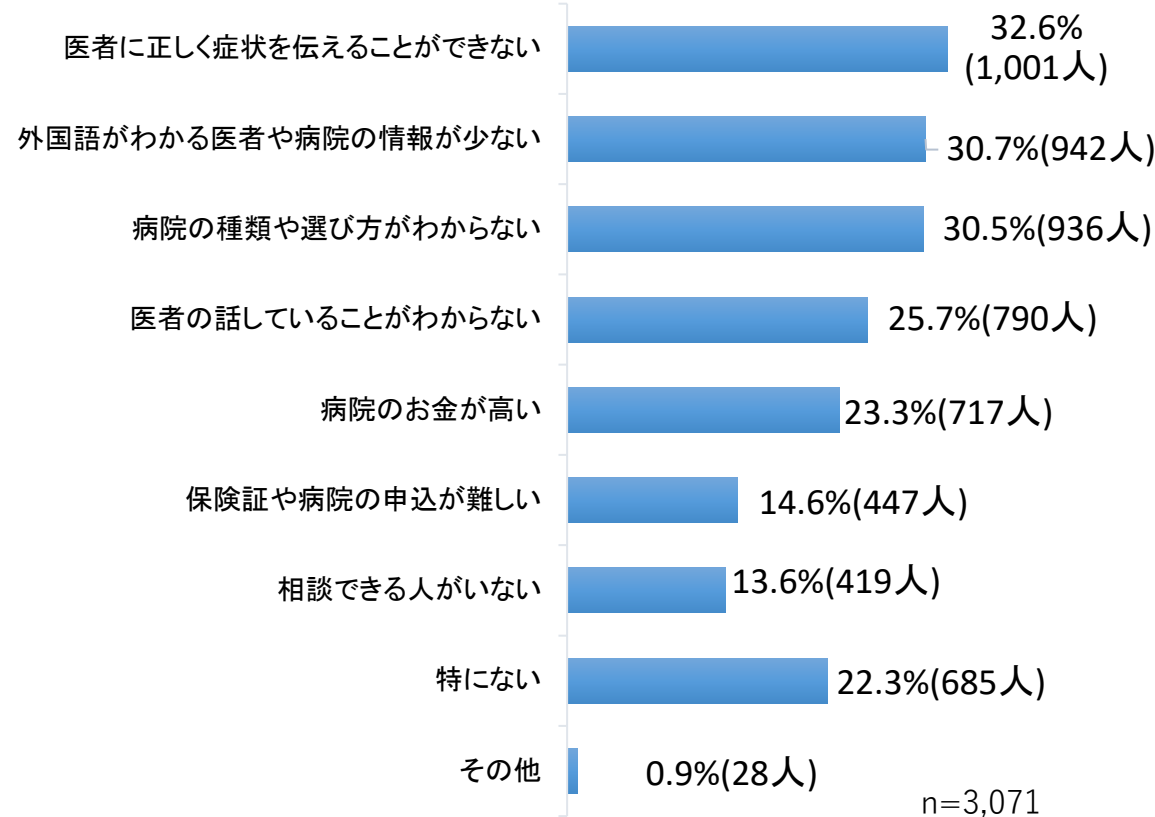
1位	親同士の交流が少ない	20.3%	(59人)
2位	子育てや教育のお金が高い	19.9%	(58人)
3位	日本の教育の制度がわからない	19.2%	(56人)
3位	学校や保育園などからのお知らせがわからない	19.2%	(56人)

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

○病気やけがをしたときの困りごと・不安なことは、「医者に正しく症状を伝えることができない」(32.6%)、「外国語がわかる医者や病院の情報が少ない」(30.7%)、「病院の種類や選び方がわからない」(30.5%)の順に多い。

病気やけがをしたときの困りごと・不安なこと

(複数回答)



(圏域別)

[南加賀] (957人)

- 1位 医者に正しく症状を伝えることができない 33.5%(321人)
- 2位 病院の種類や選び方がわからない 32.1%(307人)
- 3位 外国語がわかる医者や病院の情報が少ない 31.7%(303人)

[石川中央] (1,546人)

- 1位 外国語がわかる医者や病院の情報が少ない 31.0%(480人)
- 2位 医者に正しく症状を伝えることができない 30.3%(469人)
- 3位 病院の種類や選び方がわからない 29.2%(451人)

[能登中部] (374人)

- 1位 医者に正しく症状を伝えることができない 40.6%(152人)
- 2位 病院の種類や選び方がわからない 31.8%(119人)
- 3位 外国語がわかる医者や病院の情報が少ない 29.1%(109人)

[能登北部] (194人)

- 1位 医者の話していることがわからない 36.1%(70人)
- 2位 医者に正しく症状を伝えることができない 30.4%(59人)
- 2位 病院の種類や選び方がわからない 30.4%(59人)

(在留資格別)

[留学] (477人)

- 1位 病院の種類や選び方がわからない 39.0%(186人)
- 2位 外国語がわかる医者や病院の情報が少ない 37.9%(181人)
- 3位 医者に正しく症状を伝えることができない 36.3%(173人)

[技能実習・特定技能] (653人)

- 1位 医者に正しく症状を伝えることができない 35.4%(231人)
- 2位 病院の種類や選び方がわからない 29.9%(195人)
- 3位 外国語がわかる医者や病院の情報が少ない 28.5%(186人)

[永住者・定住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等] (957人)

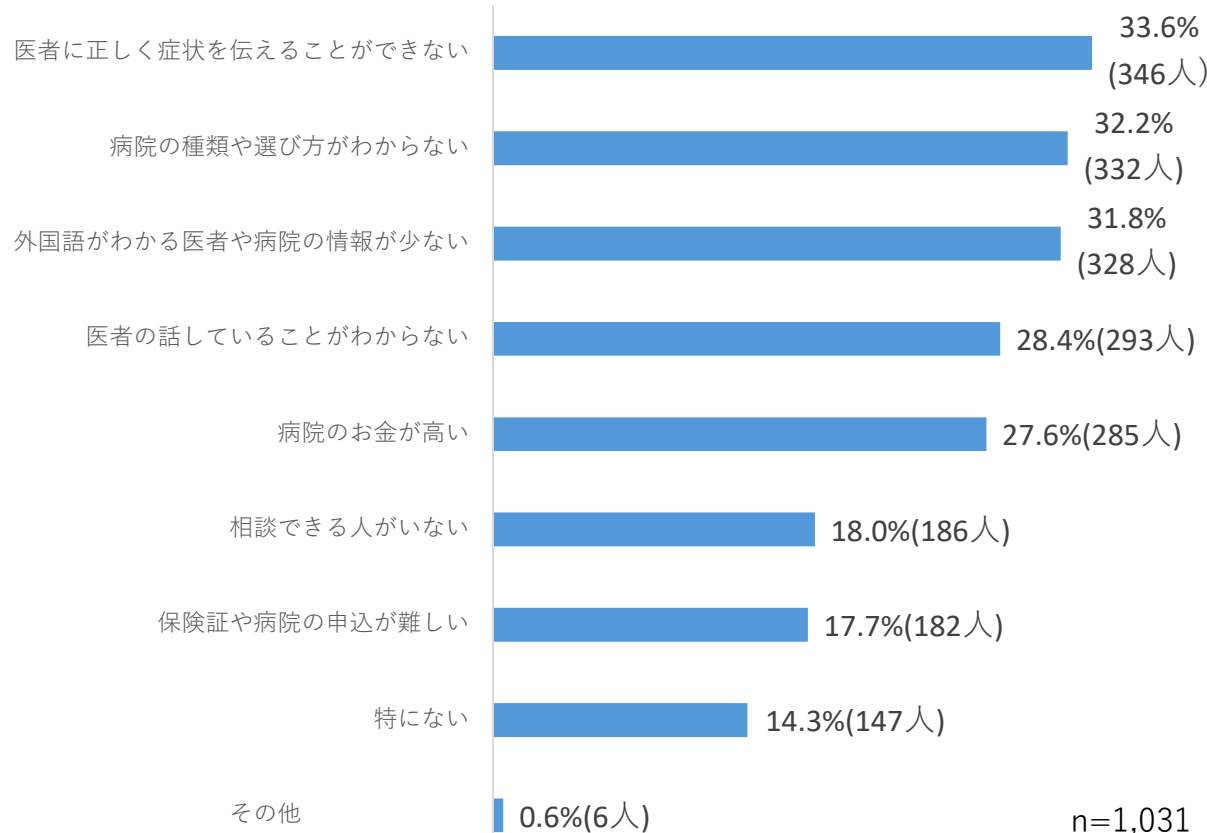
- 1位 医者に正しく症状を伝えることができない 28.8%(276人)
- 2位 外国語がわかる医者や病院の情報が少ない 25.4%(243人)
- 3位 病院の種類や選び方がわからない 25.3%(242人)

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

- 生活の満足度で「ふつう」、「あまり良くない」、「ぜんぜん良くない」と回答した者の病気やけがをしたときの困りごと・不安なことをみると、「病院のお金が高い」、「相談できる人がいない」の割合が高い。
- 南加賀では、「病院の種類や選び方がわからない」、石川中央では、「外国語がわかる医者や病院の情報が少ない」、能登北部では、「医者の話していることがわからない」の割合が高い。
- 留学では、「病院の種類や選び方がわからない」、技能実習・特定技能では、「病院のお金が高い」、永住者等長期滞在の者では、「医者の話していることがわからない」の割合が高い。

病気やけがをしたときの困りごと・不安なこと

(複数回答)



(圏域別)

[南加賀] (342人)

1位 病院の種類や選び方がわからない	35.4%(121人)
2位 医者に正しく症状を伝えることができない	35.1%(120人)
3位 医者の話していることがわからない	31.6%(108人)

[石川中央] (479人)

1位 外国語がわかる医者や病院の情報が少ない	35.5%(170人)
2位 医者に正しく症状を伝えることができない	32.8%(157人)
3位 病院の種類や選び方がわからない	30.7%(147人)

[能登中部] (149人)

1位 医者に正しく症状を伝えることができない	34.2%(51人)
2位 病院のお金が高い	30.9%(46人)
3位 病院の種類や選び方がわからない	28.9%(43人)

[能登北部] (61人)

1位 医者の話していることがわからない	44.3%(27人)
2位 病院の種類や選び方がわからない	34.4%(21人)
3位 医者に正しく症状を伝えることができない	29.5%(18人)

(在留資格別)

[留学] (177人)

1位 病院の種類や選び方がわからない	43.6%(51人)
2位 外国語がわかる医者や病院の情報が少ない	38.5%(45人)
2位 医者に正しく症状を伝えることができない	38.5%(45人)

[技能実習・特定技能] (235人)

1位 医者に正しく症状を伝えることができない	36.3%(86人)
2位 病院のお金が高い	31.9%(75人)
3位 外国語がわかる医者や病院の情報が少ない	28.9%(68人)

[永住者・定住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等] (291人)

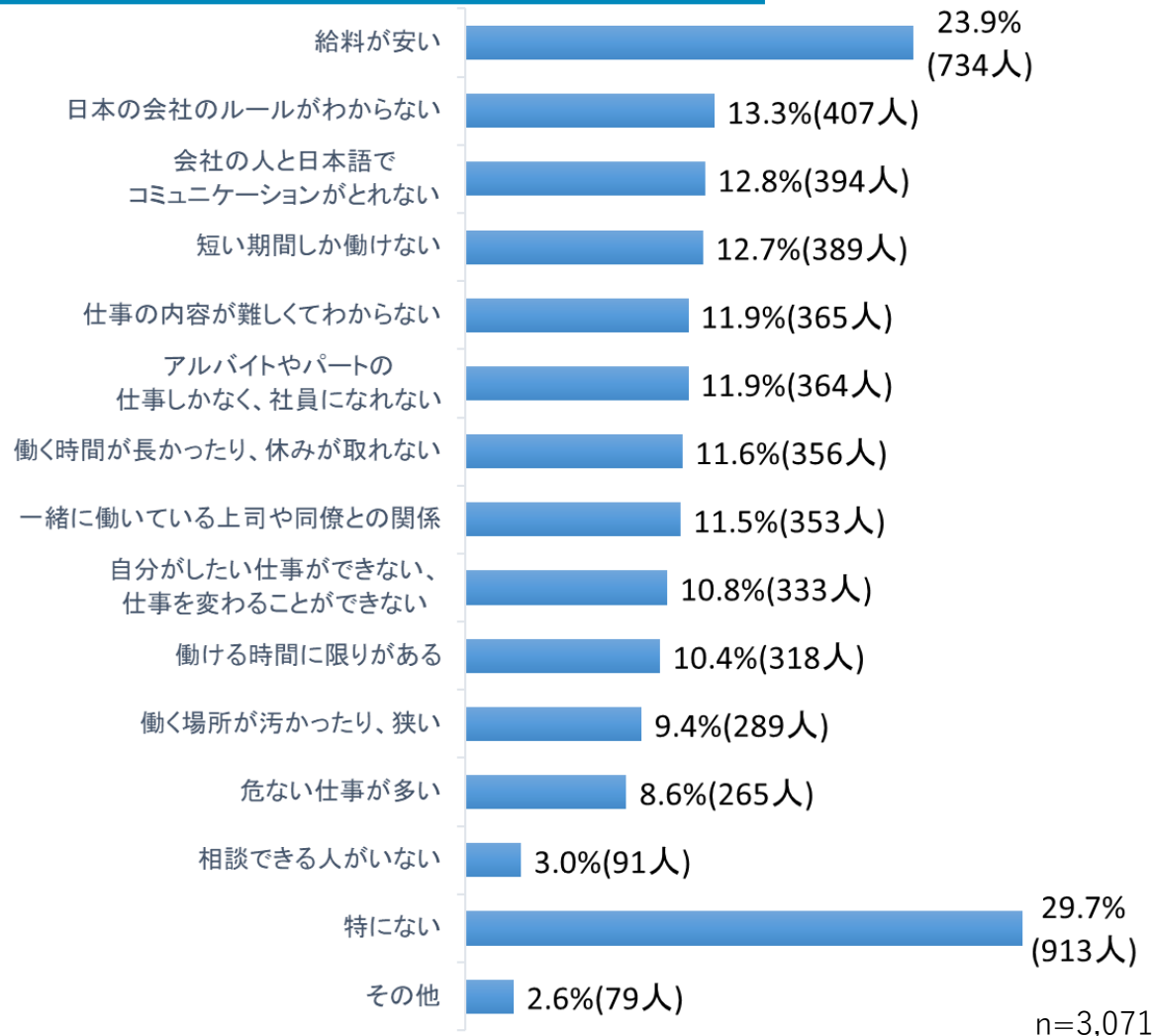
1位 医者に正しく症状を伝えることができない	35.1%(102人)
2位 病院の種類や選び方がわからない	33.0%(96人)
3位 医者の話していることがわからない	32.6%(95人)

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

○仕事の困りごと・不安なことは、「給料が安い」(23.9%)、「日本の会社のルールがわからない」(13.3%)、「会社の人と日本語でコミュニケーションが取れない」(12.8%)の順に多い。

仕事の困りごと・不安なこと

(複数回答)



(圏域別)

圏域	人数	1位	2位	3位
[南加賀]	957人	給料が安い	日本の会社のルールがわからない	会社の人と日本語でコミュニケーションがとれない
		22.6%(216人)	14.1%(135人)	13.1%(125人)
[石川中央]	1,546人	給料が安い	会社の人と日本語でコミュニケーションがとれない	日本の会社のルールがわからない
		24.7%(382人)	12.2%(188人)	11.4%(176人)
			3位	アルバイトやパートの仕事しかなく、社員になれない
				11.4%(176人)
[能登中部]	374人	給料が安い	仕事の内容が難しくてわからない	短い期間しか働けない
		25.1%(94人)	17.9%(67人)	17.6%(66人)
[能登北部]	194人	仕事の内容が難しくてわからない	短い期間しか働けない	一緒に働いている上司や同僚との関係
		24.7%(48人)	24.2%(47人)	23.2%(45人)

(在留資格別)

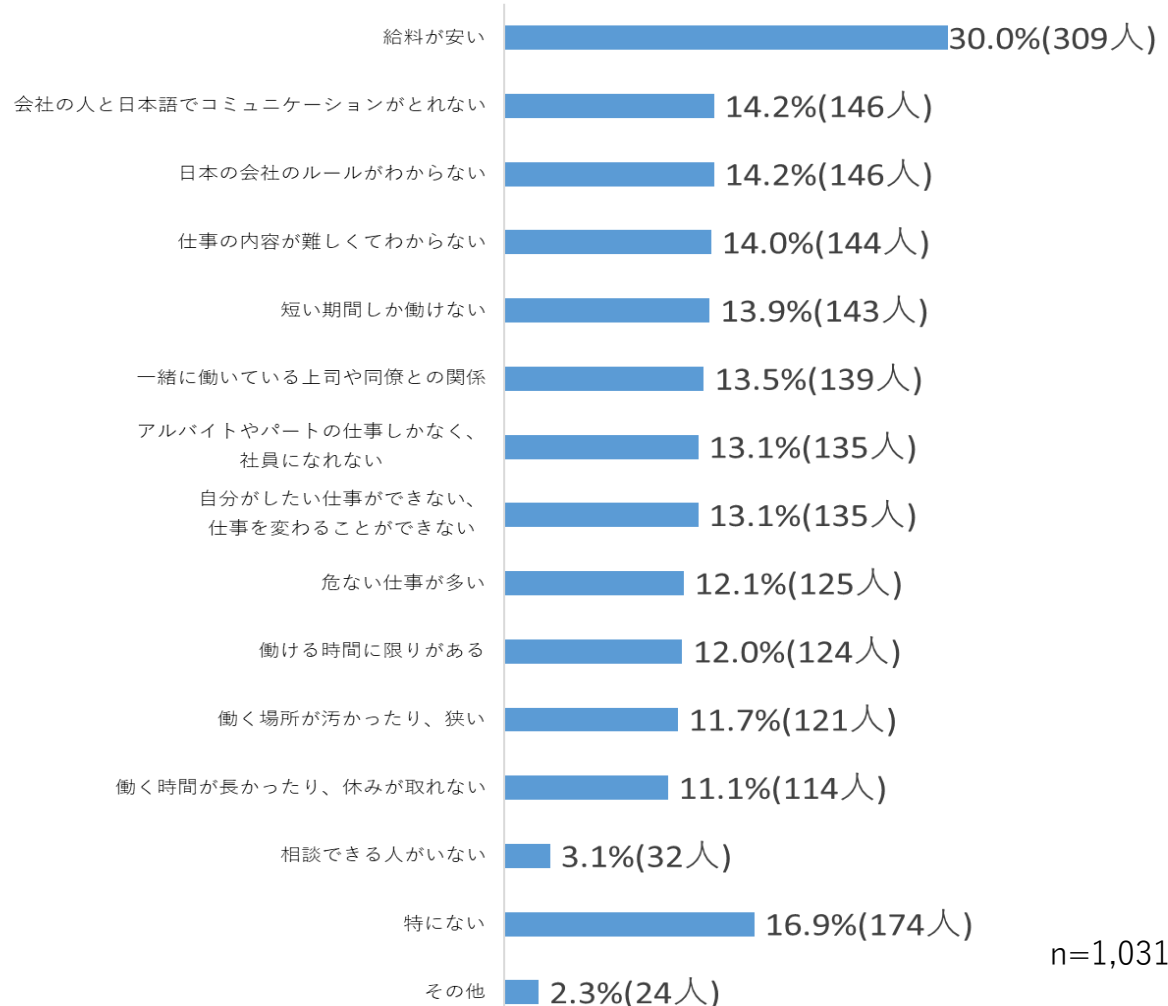
在留資格	人数	1位	2位	3位
[留学]	477人	給料が安い	日本の会社のルールがわからない	会社の人と日本語でコミュニケーションが取れない
		16.6%(79人)	16.1%(77人)	14.7%(70人)
[技能実習・特定技能]	653人	給料が安い	一緒に働いている上司や同僚との関係	短い期間しか働けない
		36.4%(238人)	11.6%(76人)	11.5%(75人)
[永住者・定住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等]	957人	給与が安い	働く時間が長かったり、休みが取れない	短い期間しか働けない
		21.3%(204人)	12.4%(119人)	12.0%(115人)

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

- 生活の満足度で「ふつう」、「あまり良くない」、「ぜんぜん良くない」と回答した者の仕事の困りごと・不安なことをみると、「給料が安い」、「危ない仕事が多い」の割合が高い。
- 能登中部、能登北部では、「仕事の内容が難しくわからない」、「一緒に働いている上司や同僚との関係」の割合が高い。
- 技能実習・特定技能では、「給料が安い」、永住者等長期滞在の者では、「仕事の内容が難しくわからない」の割合が高い。

仕事の困りごと・不安なこと

(複数回答)



n=1,031

(圏域別)

[南加賀] (342人)

- 1位 給料が安い 27.2%(93人)
- 2位 会社の人と日本語でコミュニケーションがとれない 16.1%(55人)
- 2位 短い期間しか働けない 16.1%(55人)

[石川中央] (479人)

- 1位 給料が安い 32.4%(155人)
- 2位 自分がしたい仕事ができない、仕事を変えることができない 13.6%(65人)
- 3位 会社の人と日本語でコミュニケーションがとれない 13.2%(63人)

[能登中部] (149人)

- 1位 給料が安い 29.5%(44人)
- 2位 仕事の内容が難しくわからない 18.8%(28人)
- 3位 一緒に働いている上司や同僚との関係 18.1%(27人)

[能登北部] (61人)

- 1位 給料が安い 27.9%(17人)
- 2位 仕事の内容が難しくわからない 23.0%(14人)
- 2位 一緒に働いている上司や同僚との関係 23.0%(14人)
- 2位 自分がしたい仕事ができない、仕事を変えることができない 23.0%(14人)

(在留資格別)

[留学] (117人)

- 1位 給料が安い 25.6%(30人)
- 2位 日本の会社のルールがわからない 15.4%(18人)
- 3位 会社の人と日本語でコミュニケーションがとれない 12.0%(14人)

[技能実習・特定技能] (235人)

- 1位 給料が安い 46.4%(109人)
- 2位 一緒に働いている上司や同僚との関係 12.8%(30人)
- 3位 自分がしたい仕事ができない、仕事を変えることができない 11.9%(28人)

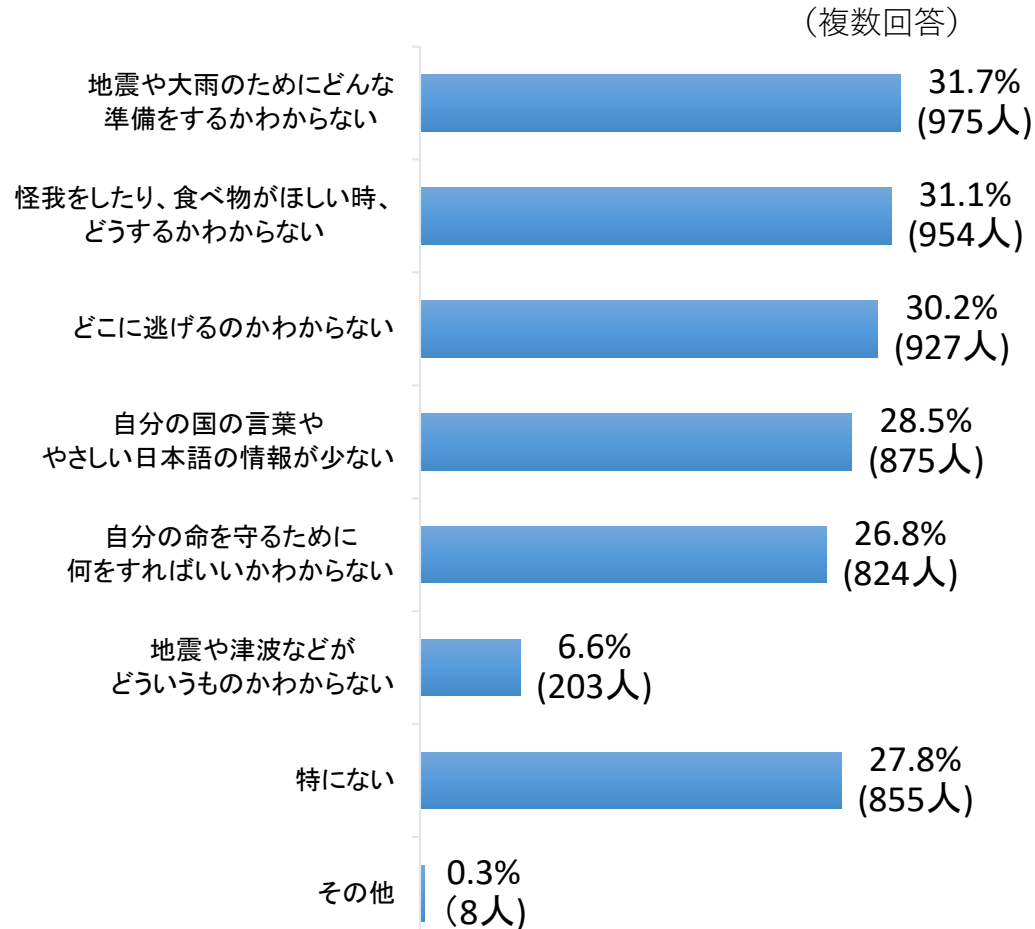
[永住者・定住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等] (291人)

- 1位 給料が安い 25.4%(74人)
- 2位 仕事の内容が難しくわからない 17.9%(52人)
- 3位 短い期間しか働けない 15.8%(46人)

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

○災害時の困りごと・不安なことは、「地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない」(31.7%)、「怪我をしたり、食べ物がほしい時、どうするかわからない」(31.1%)、「どこに逃げるのかわからない」(30.2%)の順に多い。

災害時の困りごと・不安なこと



n=3,071

(圏域別)

[南加賀] (957人)

- 1位 どこに逃げるのかわからない 31.3%(300人)
- 2位 怪我をしたり、食べ物がほしい時、どうするかわからない 30.9%(296人)
- 3位 地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない 30.0%(287人)

[石川中央] (1,546人)

- 1位 どこに逃げるのかわからない 30.5%(472人)
- 2位 地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない 29.8%(460人)
- 3位 怪我をしたり、食べ物がほしい時、どうするかわからない 28.6%(442人)

[能登中部] (374人)

- 1位 地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない 41.7%(156人)
- 2位 怪我をしたり、食べ物がほしい時、どうするかわからない 36.6%(137人)
- 3位 自分の国の言葉ややさしい日本語の情報が少ない 32.9%(123人)

[能登北部] (194人)

- 1位 怪我をしたり、食べ物がほしい時、どうするかわからない 40.7%(79人)
- 2位 地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない 37.1%(72人)
- 3位 自分の国の言葉ややさしい日本語の情報が少ない 32.5%(63人)

(在留資格別)

[留学] (477人)

- 1位 どこに逃げるのかわからない 29.4%(140人)
- 2位 地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない 26.8%(128人)
- 3位 怪我をしたり、食べ物がほしい時、どうするかわからない 24.3%(116人)

[技能実習・特定技能] (653人)

- 1位 地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない 30.8%(201人)
- 2位 怪我をしたり、食べ物がほしい時、どうするかわからない 30.6%(200人)
- 3位 どこに逃げるのかわからない 30.3%(198人)

[永住者・定住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等] (957人)

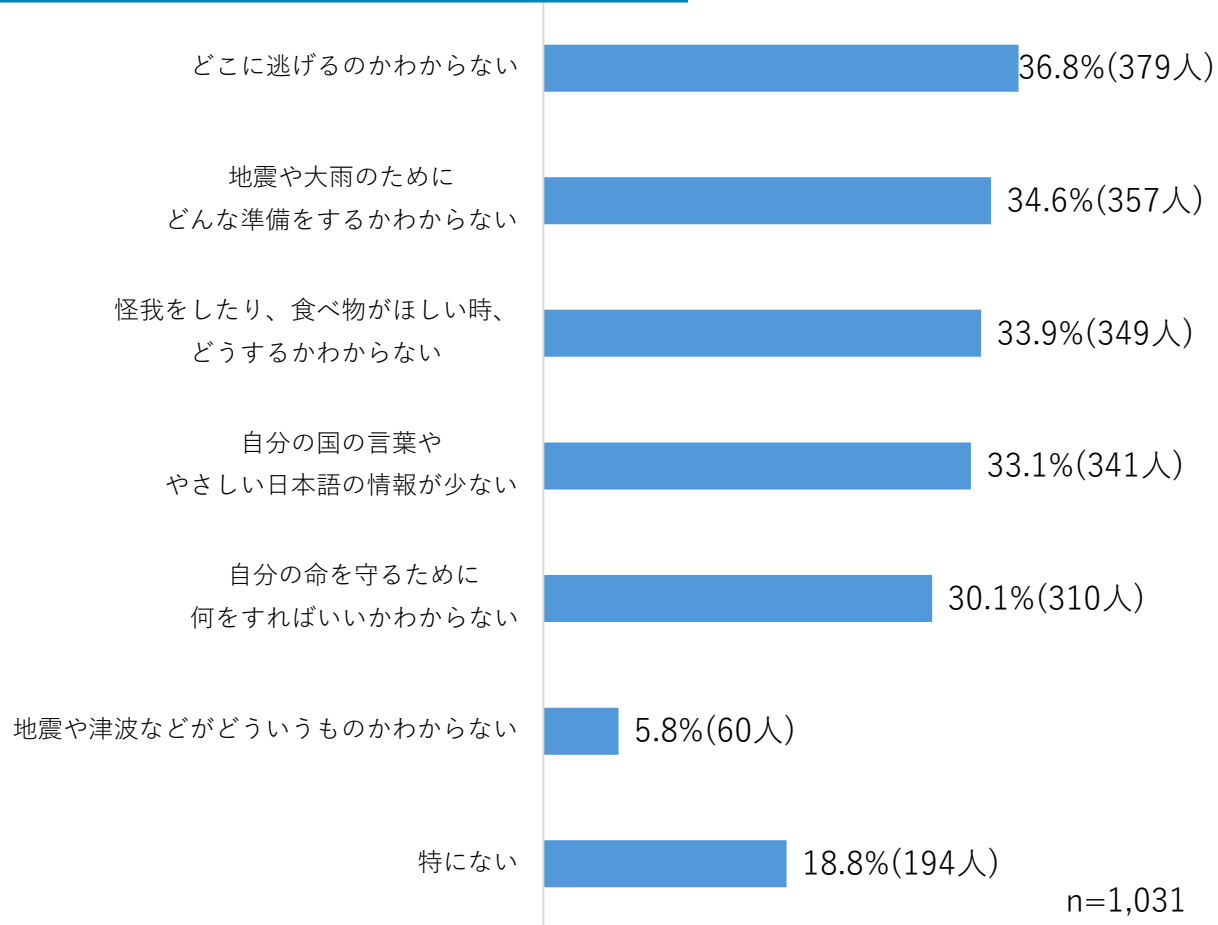
- 1位 怪我をしたり、食べ物がほしい時、どうするかわからない 28.3%(271人)
- 2位 どこに逃げるのかわからない 28.0%(268人)
- 3位 地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない 27.1%(259人)

石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日常生活> -

- 生活の満足度で「ふつう」、「あまり良くない」、「ぜんぜん良くない」と回答した者の災害時の困りごと・不安なことをみると、「どこに逃げるのかわからない」、「自分の国の言葉ややさしい日本語の情報が少ない」、「自分の命を守るために何をすればいいかわからない」の割合が高い。
- 南加賀では、「どこに逃げるのかわからない」、能登北部では、「怪我をしたり、食べ物がほしい時、どうするかかわからない」、「地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない」の割合が高い。
- 永住者等長期滞在の者では、「怪我をしたり、食べ物がほしい時、どうするかかわからない」の割合が高い。

災害時の困りごと・不安なこと

(複数回答)



(圏域別) [南加賀] (342人)

1位	どこに逃げるのかわからない	40.1%(137人)
2位	自分の国の言葉ややさしい日本語の情報が少ない	34.5%(118人)
3位	地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない	34.2%(117人)

[石川中央] (479人)

1位	どこに逃げるのかわからない	37.8%(181人)
2位	地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない	33.6%(161人)
3位	自分の国の言葉ややさしい日本語の情報が少ない	32.2%(154人)

[能登中部] (149人)

1位	地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない	36.9%(55人)
2位	怪我をしたり、食べ物がほしい時、 どうするかかわからない	35.6%(53人)
3位	自分の国の言葉ややさしい日本語の情報が少ない	33.6%(50人)

[能登北部] (61人)

1位	怪我をしたり、食べ物がほしい時、 どうするかかわからない	45.9%(28人)
2位	地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない	39.3%(24人)
3位	自分の命を守るために何をすればいいかわからない	31.1%(19人)
3位	自分の国の言葉ややさしい日本語の情報が少ない	31.1%(19人)

(在留資格別)

[留学] (117人)

1位	どこに逃げるのかわからない	36.8%(43人)
2位	自分の命を守るために何をすればいいかわからない	29.1%(34人)
2位	地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない	29.1%(34人)

[技能実習・特定技能] (235人)

1位	自分の国の言葉ややさしい日本語の情報が少ない	33.6%(79人)
2位	どこに逃げるのかわからない	32.8%(77人)
3位	地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない	28.5%(67人)
3位	怪我をしたり、食べ物がほしい時、 どうするかかわからない	28.5%(67人)

[永住者・定住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等] (291人)

1位	怪我をしたり、食べ物がほしい時、 どうするかかわからない	36.8%(107人)
2位	どこに逃げるのかわからない	34.0%(99人)
2位	地震や大雨のためにどんな準備をするかわからない	34.0%(99人)

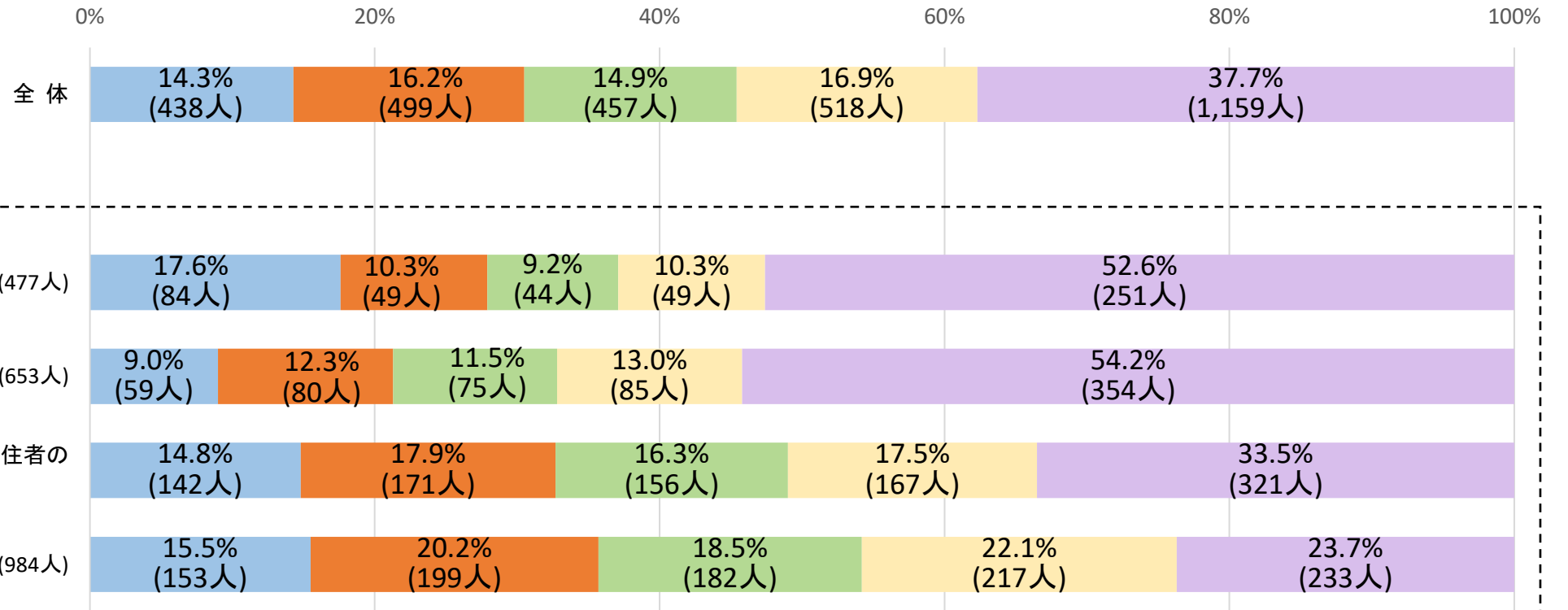
石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <地域交流・活動> -

○日本人との交流イベントに参加したことはないと答えたのは37.7%。
 滞在期間が短い、「技能実習・特定技能」、「留学」において、参加していない割合が過半数。

日本人との交流イベントへの参加歴の有無

n=3,071

■ 月に1回以上 ■ 2・3か月に1回ぐらい ■ 半年に1回ぐらい ■ 1年に1回ぐらい ■ 参加したことはない

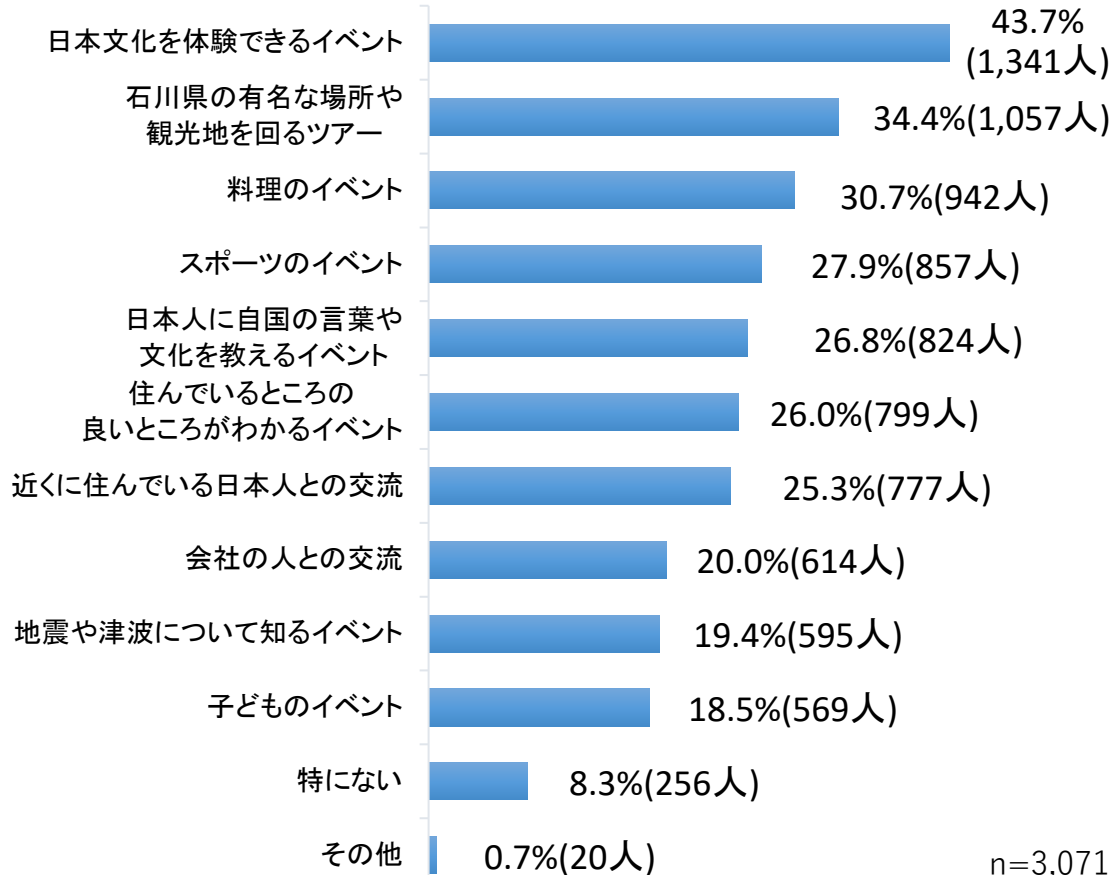


石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <地域交流・活動> -

- 参加したい交流イベントは、「日本文化を体験できるイベント」(43.7%)が最も多く、次いで「石川県の有名な場所や観光地を回るツアー」(34.4%)が多い。
- 居住地域で参加したい活動は、「お祭りやスポーツのイベント」(49.4%)が最も多く、次いで、「外国人コミュニティリーダー」(31.4%)、「日本人に自分の国の言葉や文化を教える活動」(30.5%)と続く。

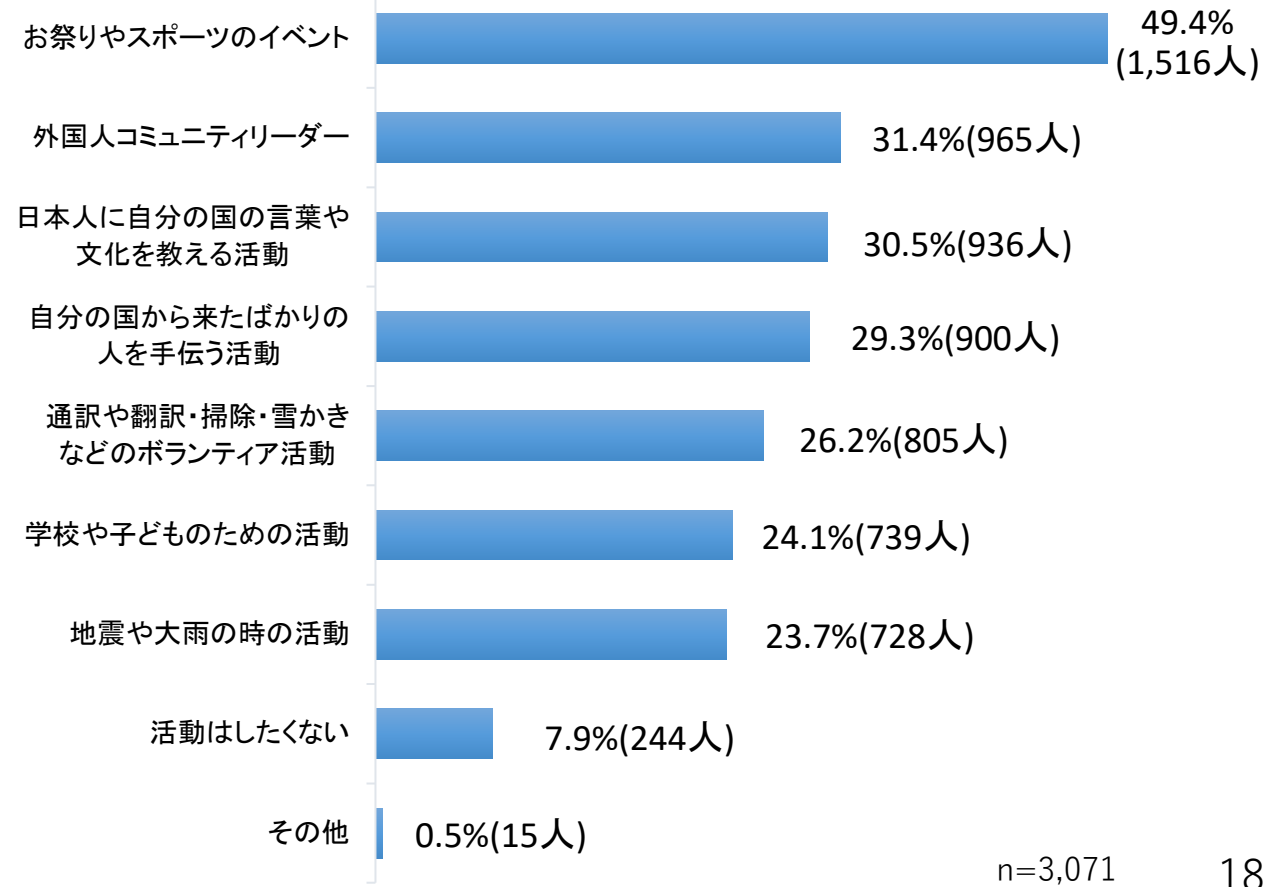
参加したい日本人との交流イベント

(複数回答)



居住地域で参加したい活動

(複数回答)

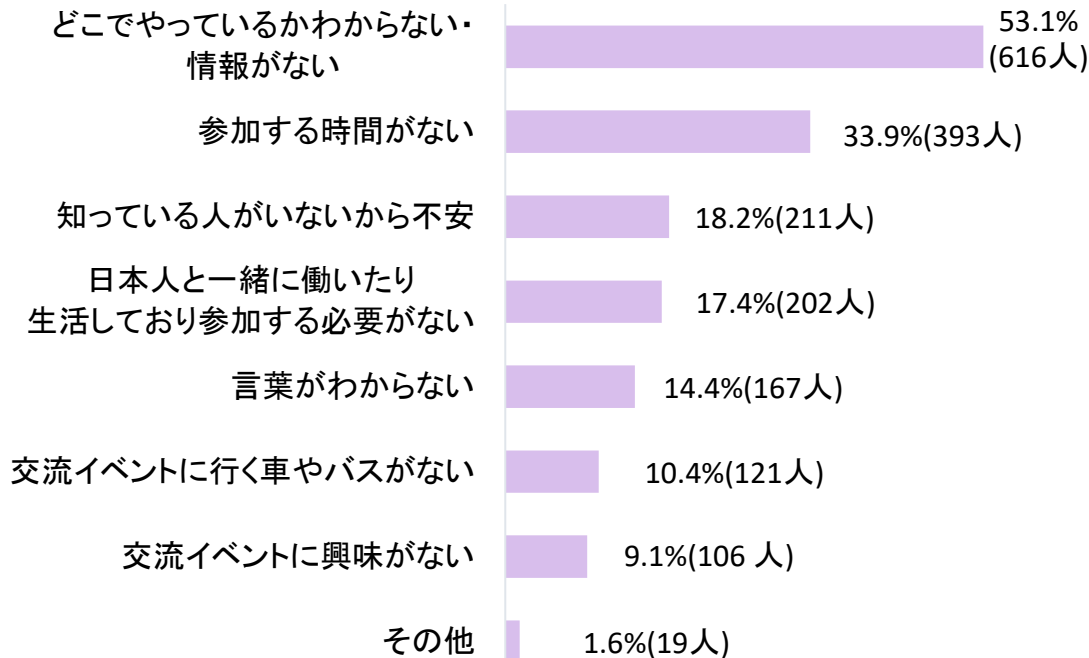


石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <地域交流・活動> -

- **交流イベントに参加したことはない者**の、日本人との交流イベントに参加しない・できない理由は「どこでやっているかわからない・情報がない」(53.1%)、「参加する時間がない」(33.9%)、「知っている人がいないから不安」(18.2%)と続く。
- 参加したい交流イベントは、「日本文化を体験できるイベント」、や「石川県の有名な場所や観光地を回るツアー」の割合が高い。

日本人との交流イベントに参加しない・できない理由

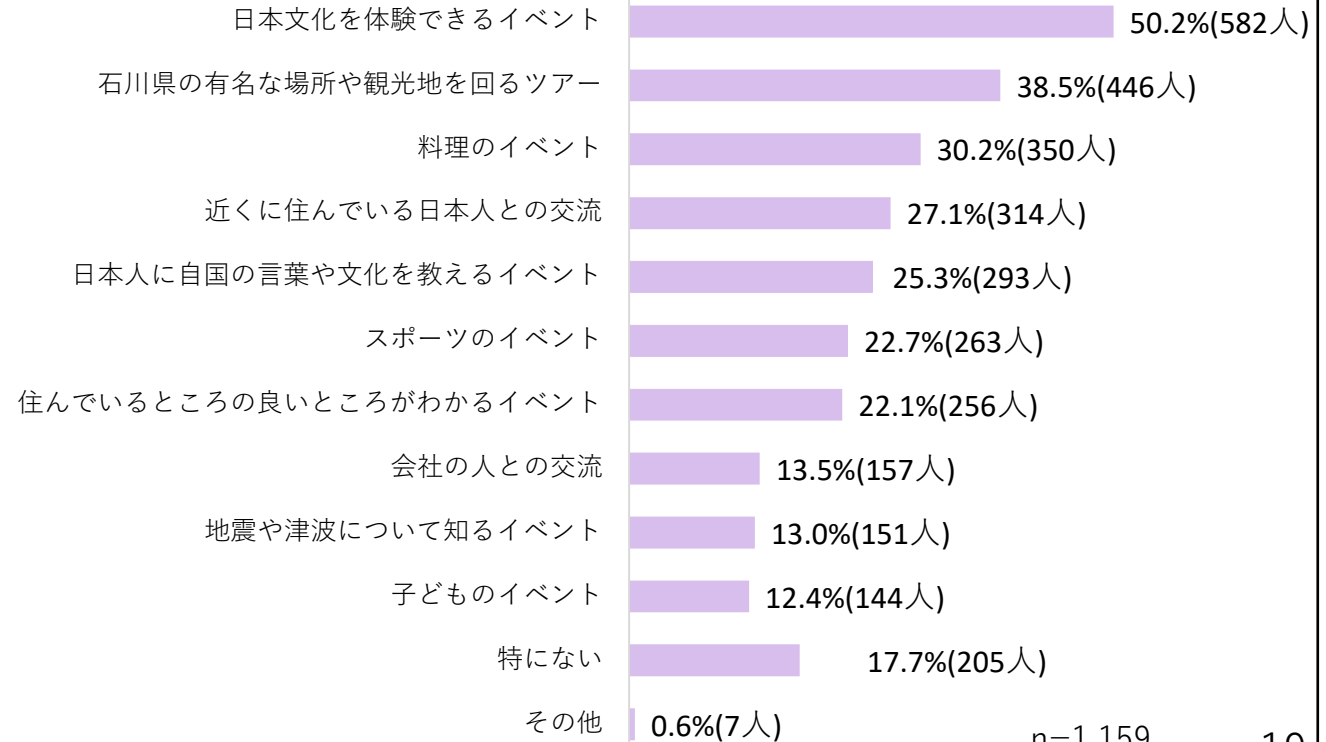
(複数回答)



n=1,159

参加したい日本人との交流イベント

(複数回答)

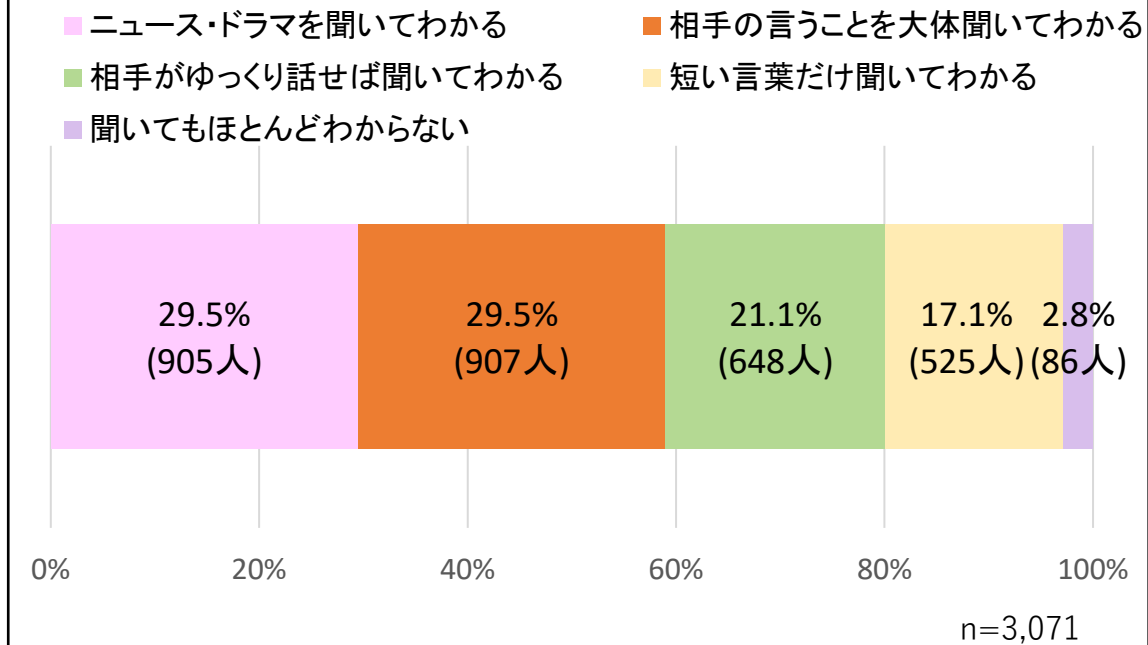


n=1,159

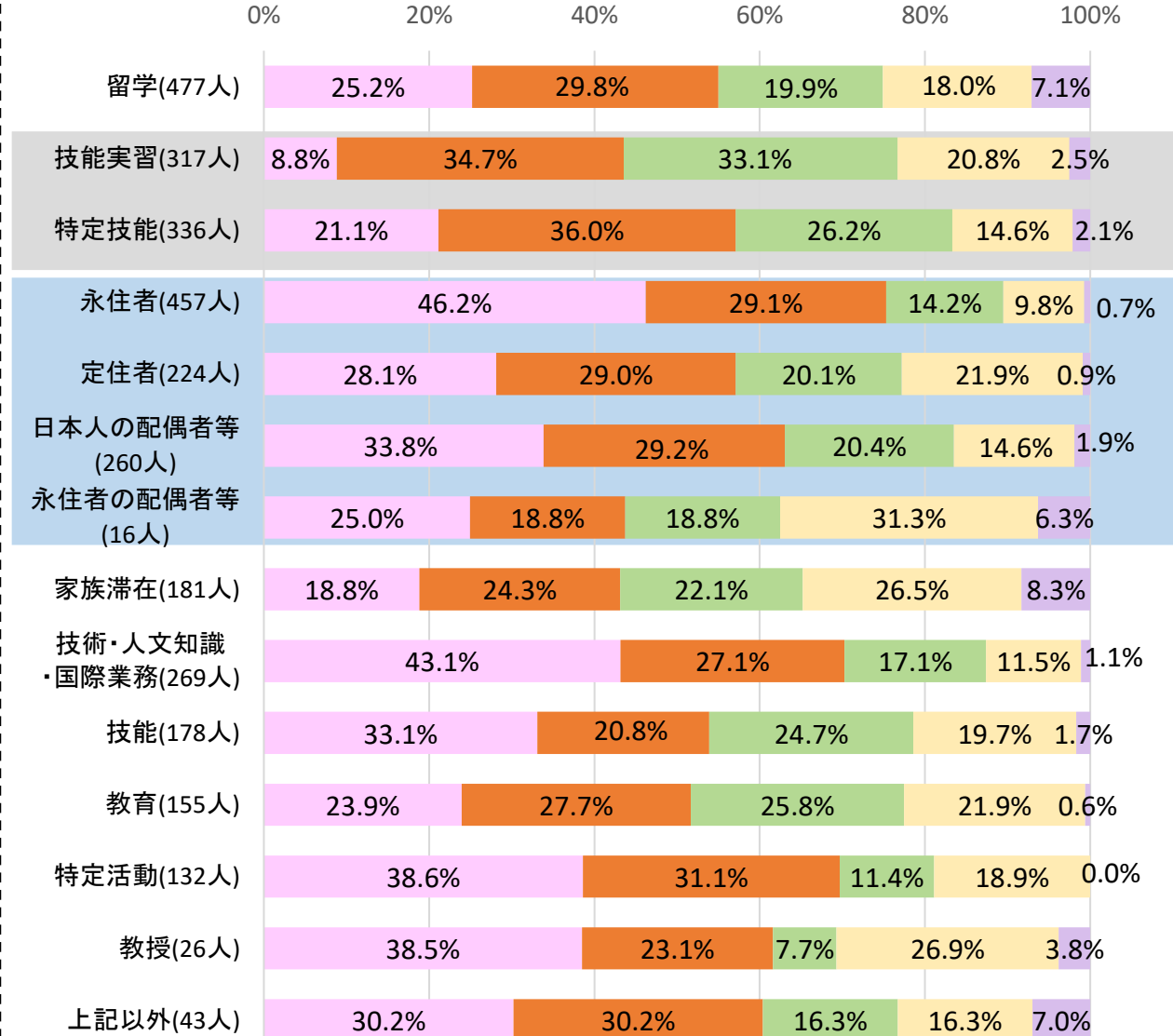
石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日本語学習> -

- 日本語を聞くことは、「ニュース・ドラマを聞いて分かる」(29.5%)と「相手の言うことを大体聞いてわかる」(29.5%)で約6割。
- 「聞いてもほとんどわからない」(2.8%)は少ない。

日本語能力【聞くこと】(全体)



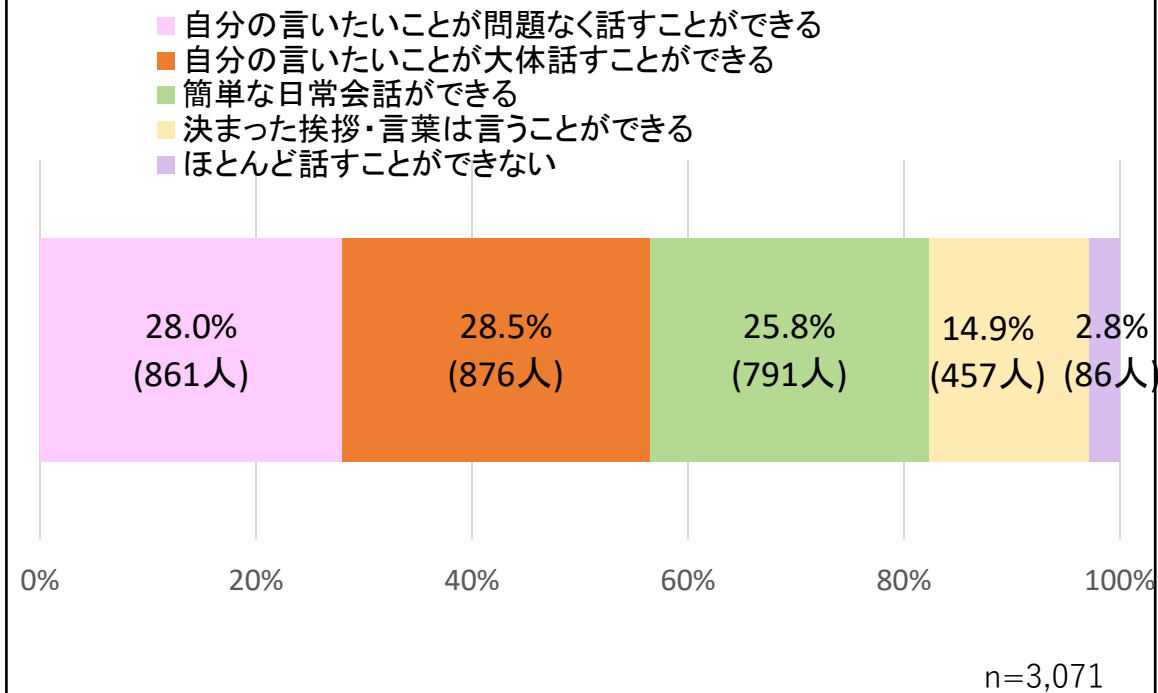
日本語能力【聞くこと】(在留資格別)



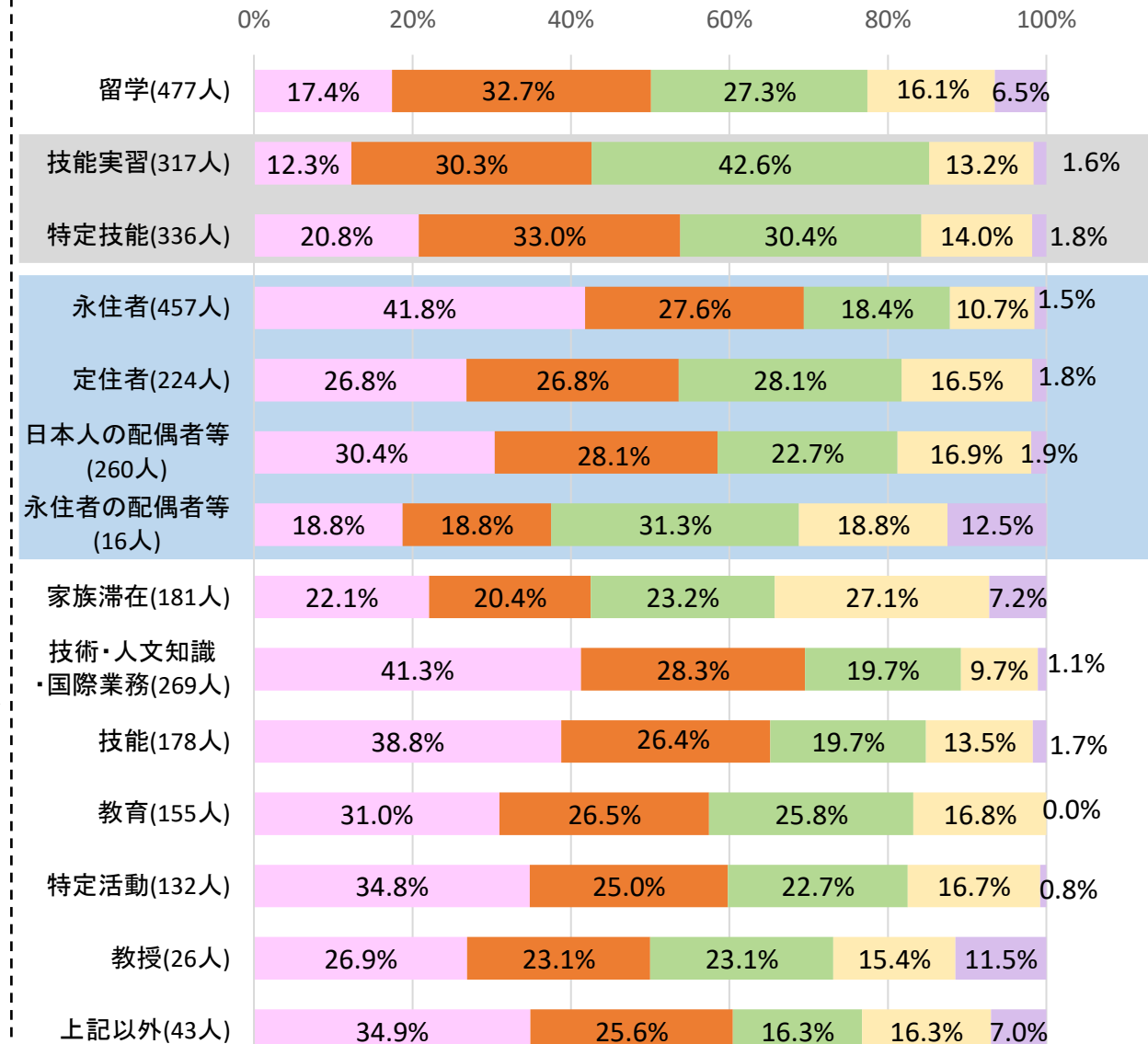
石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日本語学習> -

○日本語を話すことは、「自分の言いたいことが問題なく話すことができる」(28%)と「自分の言いたいことが大体話すことができる」(28.5%)で過半数。
○「ほとんど話すことができない」(2.8%)は少ない。

日本語能力【話すこと】(全体)



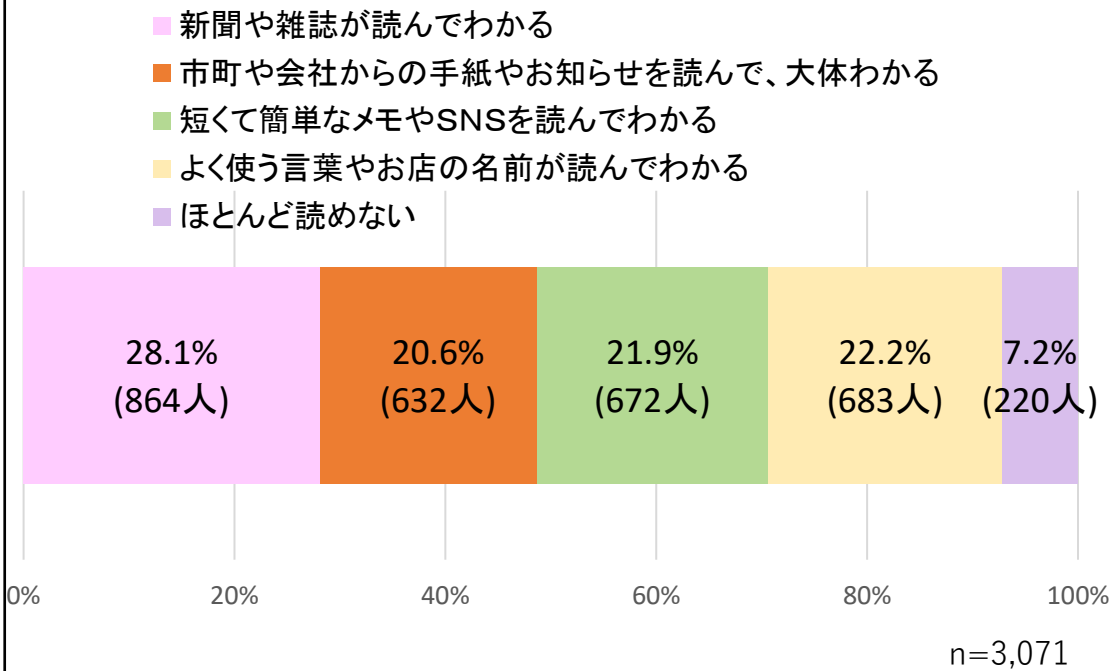
日本語能力【話すこと】(在留資格別)



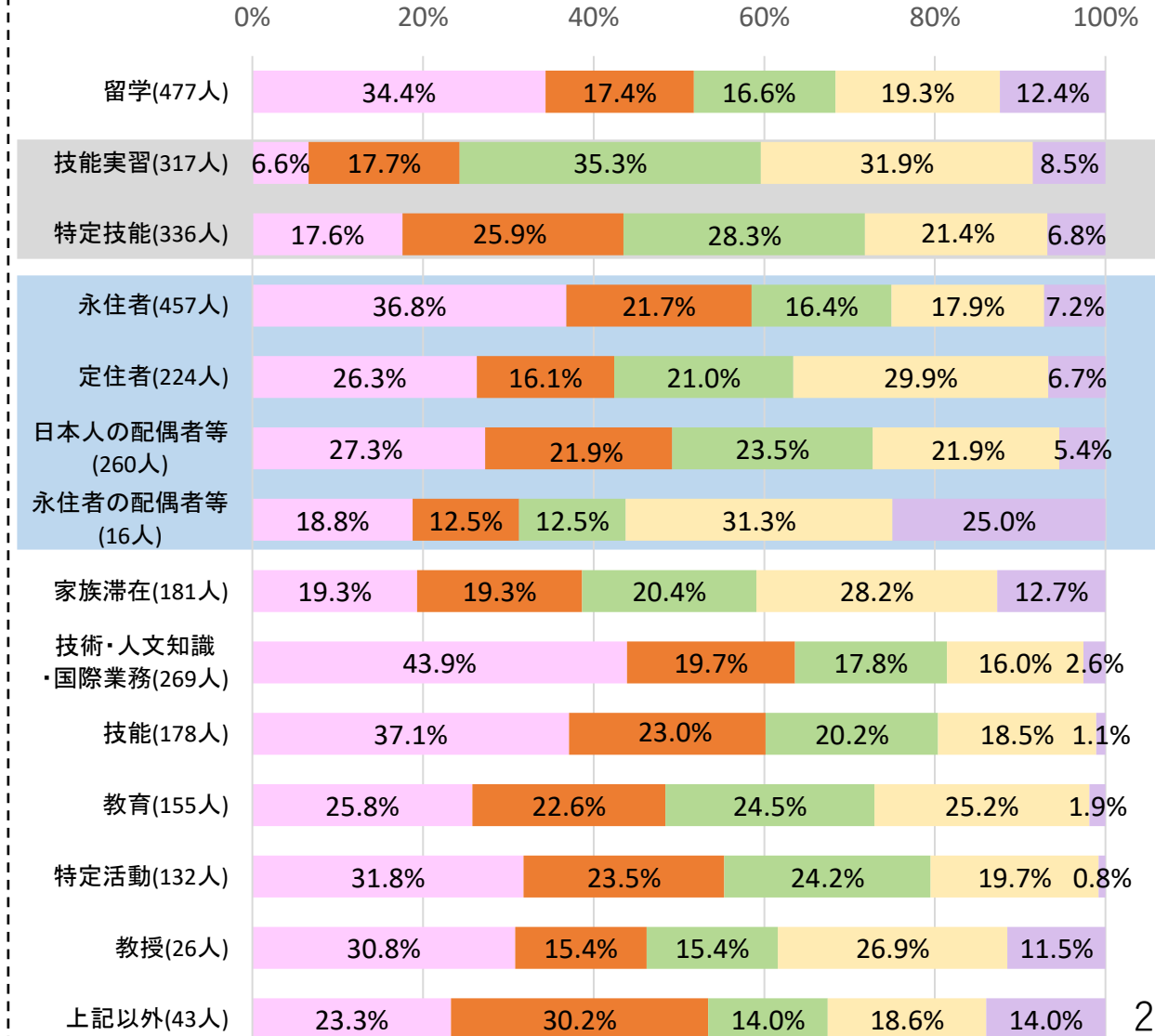
石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日本語学習> -

- 日本語を読むことは、「新聞や雑誌が読んでわかる」(28.1%)と「市町や会社からの手紙やお知らせを読んで、大体わかる」(20.6%)で約5割。
- 「ほとんど読めない」は7.2%。

日本語能力【読むこと】(全体)



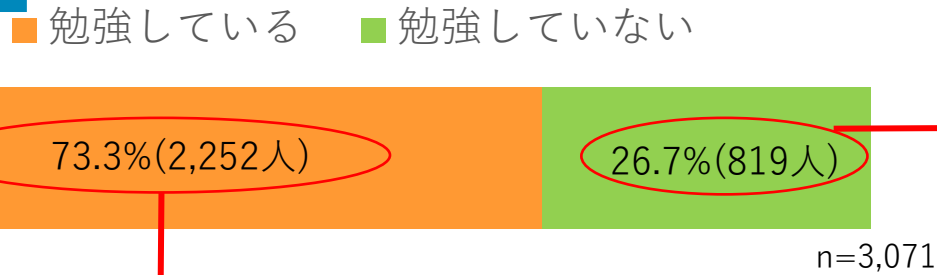
日本語能力【読むこと】(在留資格別)



石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日本語学習> -

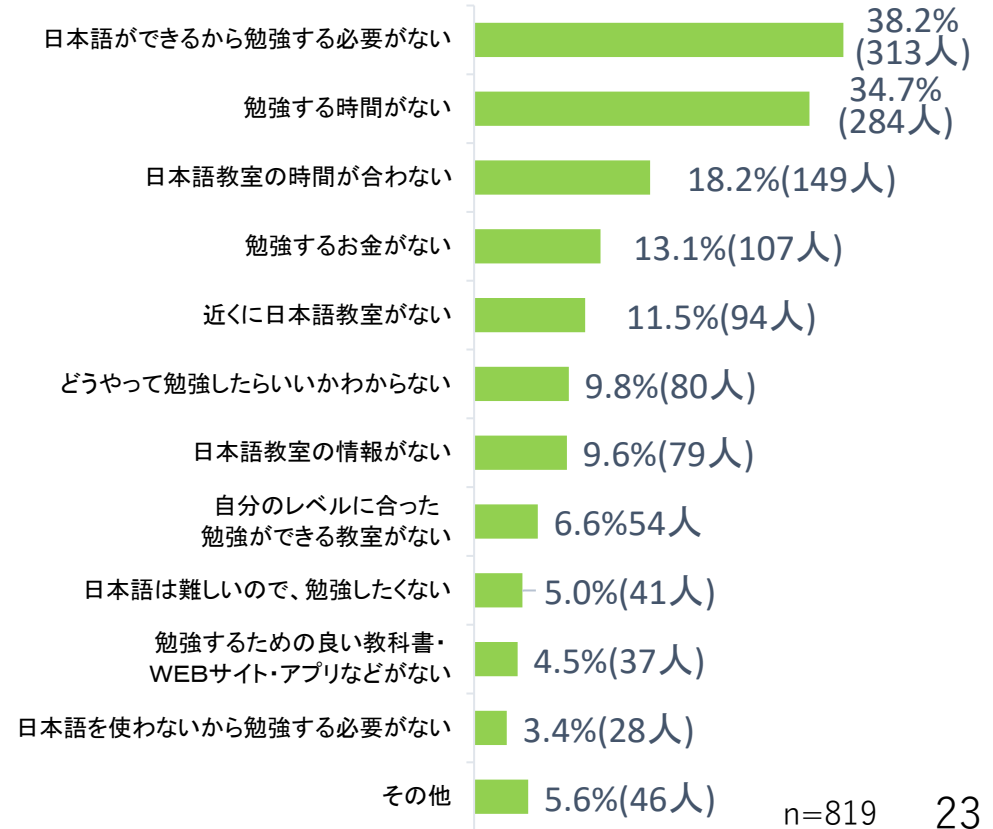
- 日本語を勉強していると答えたのは73.3%。
- 日本語の学習方法は、「家でひとりで（教科書・WEBサイト・テレビ・ラジオなど）」（54.0%）、「高校・大学・日本語学校などで」（28.4%）、「地域の日本語教室で」（24.7%）の順に多い。
- 日本語を勉強していない理由は、「日本語ができるから勉強する必要がない」（38.2%）が最も多く、「勉強する時間がない」（34.7%）、「日本語教室の時間が合わない」（18.2%）と続く。

日本語の学習状況



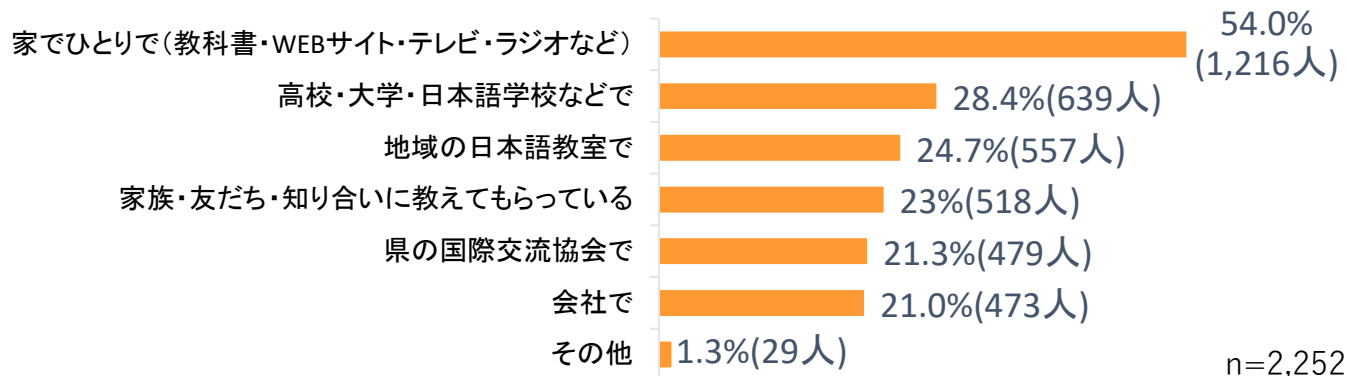
勉強していない理由

(複数回答)



日本語の学習方法

(複数回答)

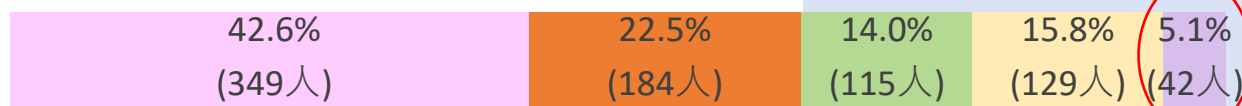


石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日本語学習> -

- **日本語を勉強していない者**の日本語能力をみると、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」それぞれについて、「ほとんどわからない（できない）」の割合が高い。
- 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」のすべてにおいて、「わかる・大体わかる（できる・大体できる）」と回答した者を除いた状況を見ると、「勉強する時間がない」、「日本語教室の時間が合わない」、「どうやって勉強したらいいかわからない」の割合が高い。

日本語を勉強していない人の日本語能力

【聞くこと】



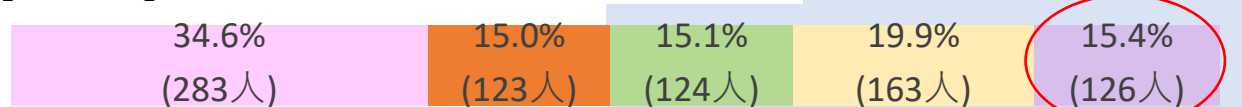
- ニュース・ドラマを聞いてわかる
- 相手の言うことを大体聞いてわかる
- 相手がゆっくり話せば聞いてわかる
- 短い言葉だけ聞いてわかる
- 聞いてもほとんどわからない

【話すこと】



- 自分の言いたいことが問題なく話すことができる
- 自分の言いたいことが大体話すことができる
- 簡単な日常会話ができる
- 決まった挨拶・言葉は言うことができる
- ほとんど話すことができない

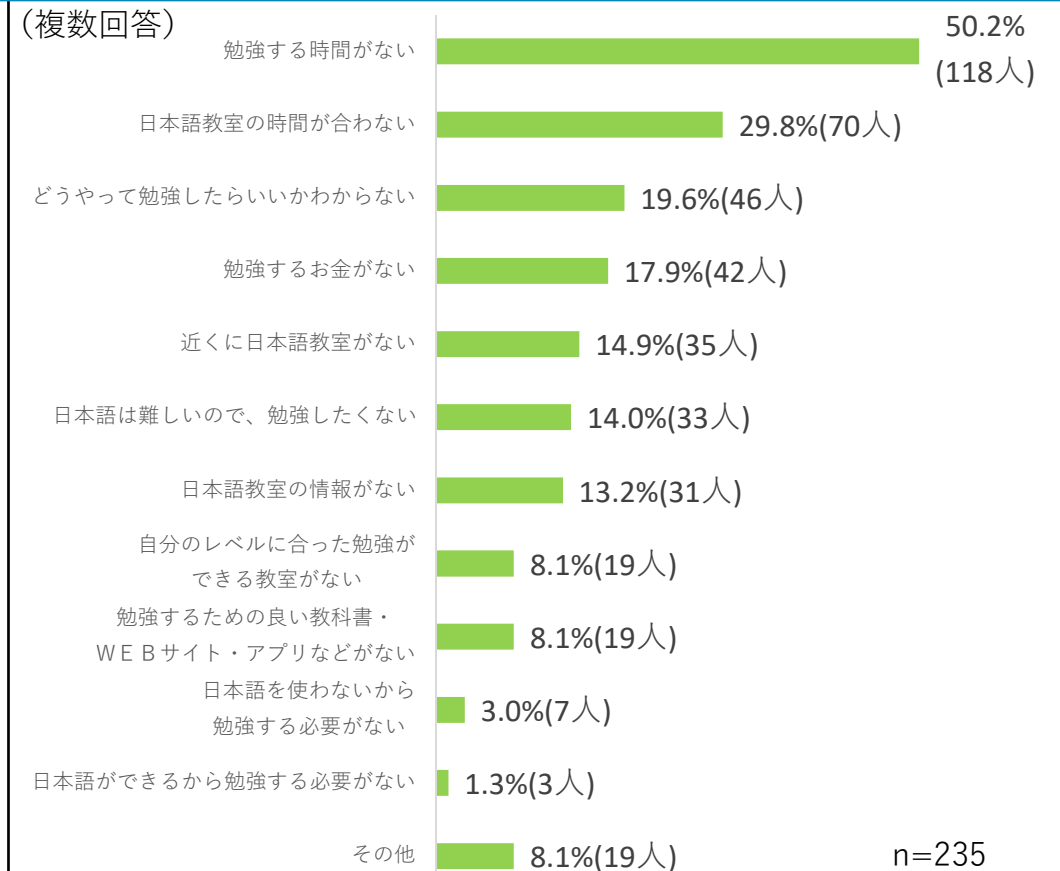
【読むこと】



- 新聞や雑誌が読んでわかる
- 市町や会社からの手紙やお知らせを読んで、大体わかる
- 短くて簡単なメモやSNSを読んでわかる
- よく使う言葉やお店の名前が読んでわかる
- ほとんど読めない

n=819

3つの日本語能力すべてにおいて、「わかる・大体わかる(できる・大体できる)」との回答以外の者の、日本語を勉強していない理由



n=235

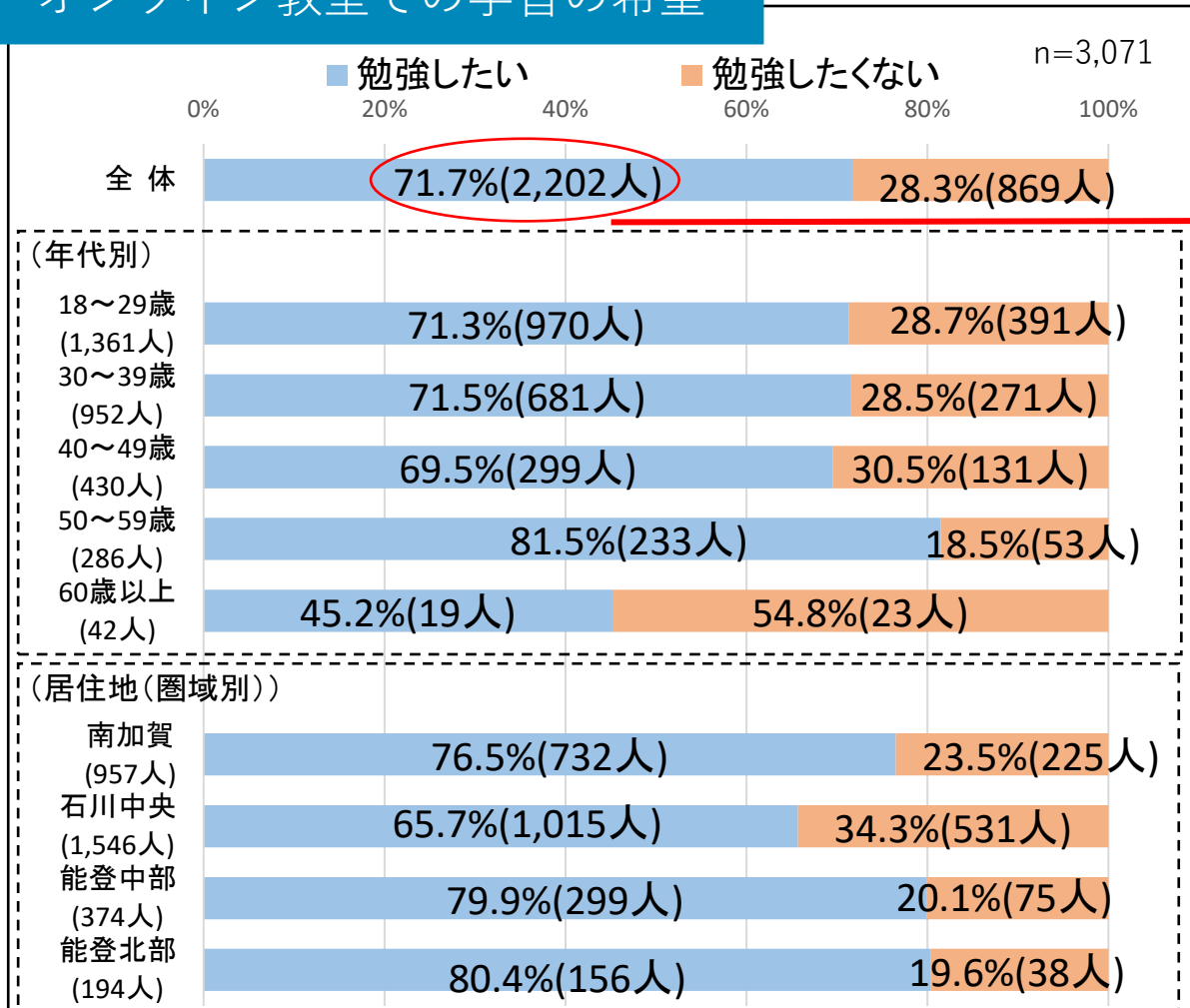
石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <日本語学習> -

○オンライン日本語教室で勉強したいと答えたのは71.7%。

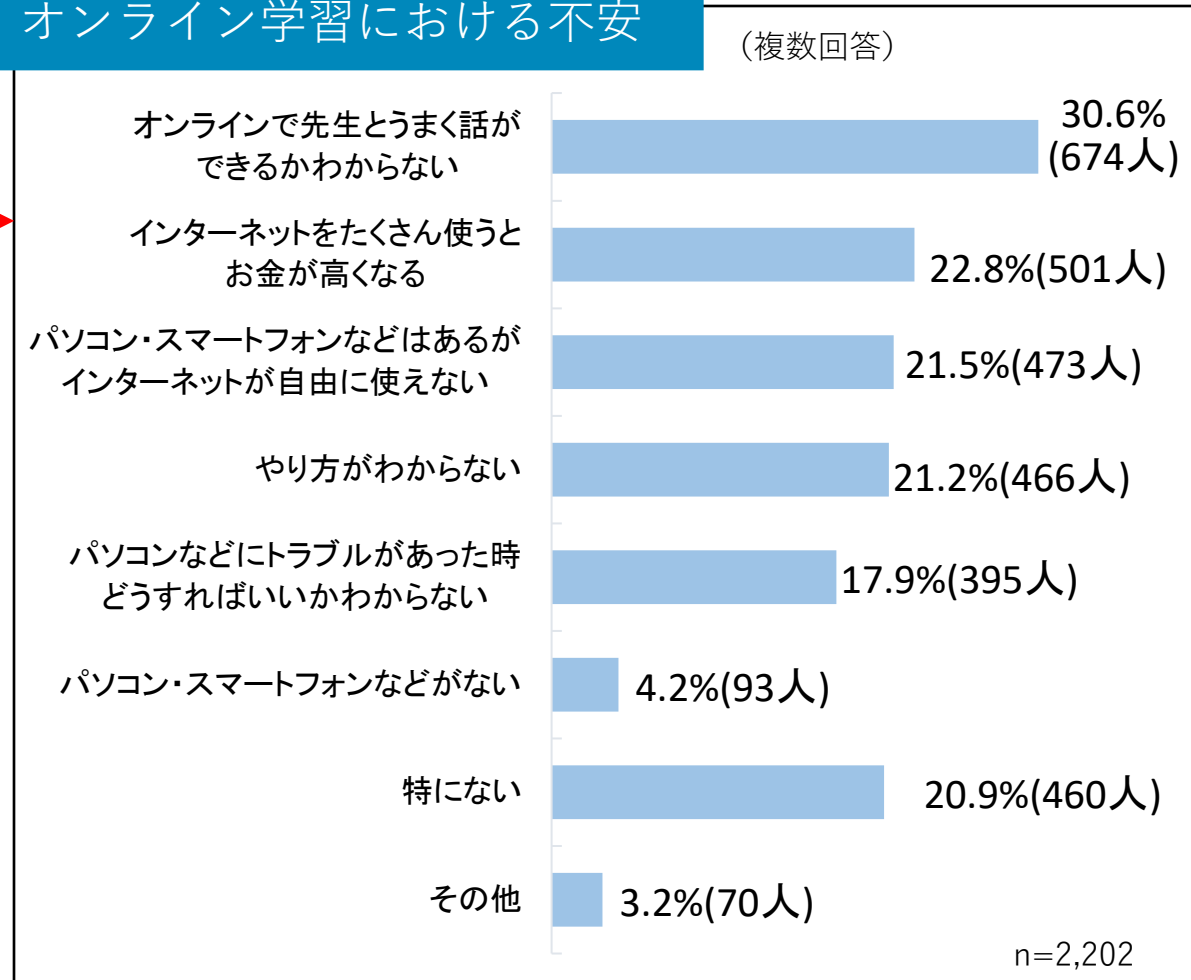
50代以下の希望者が多い。また、圏域別にみると、能登北部、能登中部、南加賀の順に多い。

○オンライン学習の不安は、「オンラインで先生とうまく話ができるかわからない」(30.6%)が最も多い。

オンライン教室での学習の希望



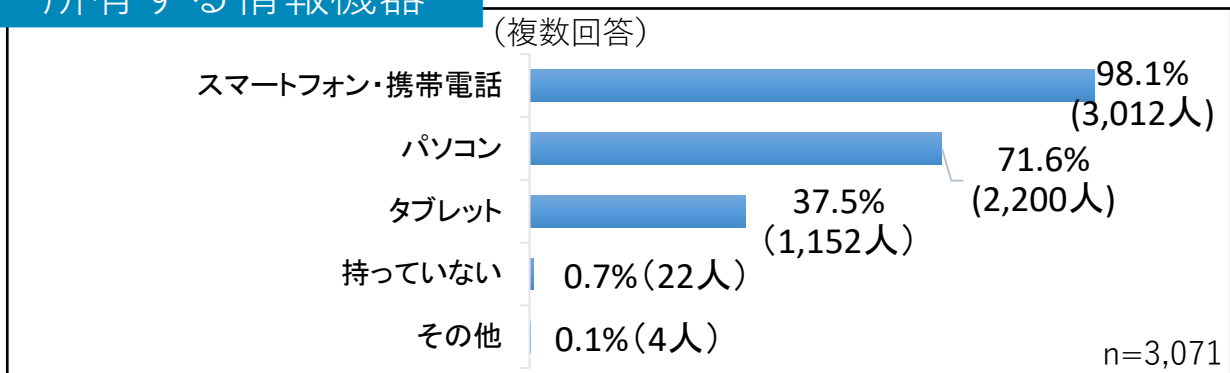
オンライン学習における不安



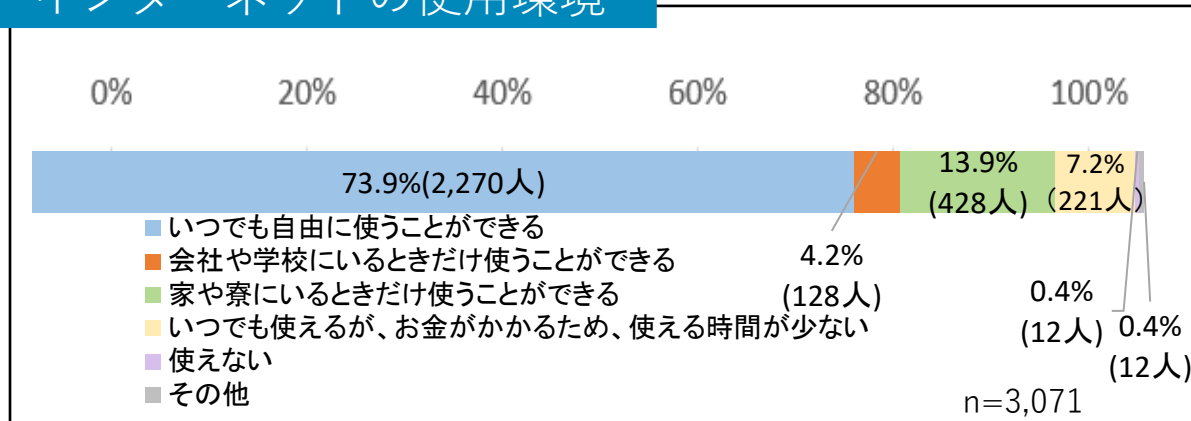
石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査 - 結果 <情報入手> -

- 多くの外国人住民がスマートフォンや携帯電話を所持（98.1%）。いつでも自由にインターネットを使える者も多い。（73.9%）
- 生活に必要な情報の入手方法は、「インターネット・SNS」（51.0%）、「友人・知人（同じ国の人）」（41.9%）、「家族・親戚」（39.4%）の順に多い。
- 使用するSNSは、Facebook（61.4%）、「LINE」（55.7%）、「YouTube」（53.3%）の順に多い。

所有する情報機器



インターネットの使用環境



生活に必要な情報の入手方法

(複数回答) n=3,071

インターネット・SNS	51.0%(1,566人)	地域の日本語教室	10.6%(326人)
友人・知人(同じ国の人)	41.9%(1,288人)	地域の国際交流団体	9.8%(300人)
家族・親戚	39.4%(1,211人)	県の国際交流協会	8.6%(264人)
友人・知人(日本人)	32.7%(1,004人)	市町の相談窓口・施設	5.0%(155人)
会社	24.9%(766人)	大使館・領事館	5.0%(154人)
テレビ・新聞	24.6%(756人)	情報を手に入れることができない	1.4%(43人)
学校	19.0%(582人)	その他 ※	0.3%(10人)
近所の日本人	16.0%(492人)		

※モスク、ラジオ、チラシ・パンフレット

日本でよく使っているSNS

(複数回答) n=3,071

Facebook	61.4%(1,886人)	X(旧Twitter)	31.4%(965人)
LINE	55.7%(1,712人)	WhatsApp	20.4%(627人)
YouTube	53.3%(1,638人)	Weibo	7.3%(223人)
Instagram	45.5%(1,397人)	KakaoTalk	4.5%(137人)
TikTok	38.6%(1,186人)	その他 ※	0.8%(24人)
WeChat	34.1%(1,046人)	使用していない	0.6%(17人)

※zalo (ベトナム・メッセージ)、Reddit (アメリカ・掲示板型サイト)、bilibili (中国・動画共有サービス)